BOOK NEWS MARUZEN-YUSHODO

書評 201810



君の話

三秋 縋 著 早川書房

親しい友人もおらず、両親とも縁を切って孤独の中で暮らす青年・千尋には「一度も 会ったことのない幼馴染」の記憶があった。とある夏の日、存在するはずのない幼馴 染・灯花が現れ...。優しい?と美しい喪失が織りなす恋の話。

2018:7./ 312p 978-4-15-209782-8 本体 ¥1,380+税

産経新聞 2018/10/06



美貌のひと~歴史に名を刻んだ顔~(PHP 新書 1145)

中野 京子 著 PHP研究所

絵画のなかの美しい人たちは、なぜ描かれることになったのか。ラファエロ「小椅子の 聖母」、パブロ・ピカソ「夢」など 40 の名画を中心に、美貌の奥に潜む秘められたドラ マを読み解く。『PHPスペシャル』連載を加筆修正。

2018:6./201p 978-4-569-84076-5 本体 ¥920+税

産経新聞 2018/10/06



変わったタイプ(CREST BOOKS)

トム・ハンクス 著

新潮社

月旅行を目指す高校時代からの4人組。西部戦線からの帰還兵のクリスマス。変わり 者の億万長者とその忠実な秘書...。俳優トム・ハンクスが悲喜こもごもの人生の一瞬 を懐の深い筆致で描きだした17の物語を収録。

2018:8./ 447p 978-4-10-590151-6 本体 ¥2,400+税

産経新聞 2018/10/07



波の上のキネマ

増山 実著

集英社

小さな映画館を創業した祖父は若い頃、脱出不可能と言われた<緑の監獄>で働い ていた。現代へと?がる情熱と覚悟、驚きの運命...。歴史のうねりと個人の生が紡ぐ物 語。

2018:8./419p 978-4-08-775443-8 本体 ¥1,850+税

産経新聞 2018/10/07



検証米中貿易戦争~揺らぐ人民元帝国~(ML 新書 07)

田村 秀男 著

マガジンランド

陰りが見えるドルの帝国・米国、急速に膨張する人民元を武器に覇権国家の座を狙う 中国。貿易を戦場とする米中戦争が始まった。世界史を新局面に突入させた人民元 の正体とは何か、多角的に検証する。

2018:7./ 255p 978-4-86546-193-0 本体 ¥907+税

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2018年11月時点での税抜価格です。



特捜投資家

永瀬 隼介 著ダイヤモンド社

忖度と追従の国で甘い汁を吸う、フェイクなヤツらを撃て! 地獄から這い上がった孤高の投資家、元社会部記者、失敗続きのバリキャリ美女...。不正企業を叩き潰す、"特捜投資家"の活躍を描く。痛快ピカレスク小説。

2018:9./ 381p 978-4-478-10566-5 本体 ¥1,500+税

産経新聞 2018/10/07



マルセル・デュシャン アフタヌーン・インタヴューズ~アート、アーティスト、そして人 生について~

マルセル・デュシャン、カルヴィン・トムキンズ、中野 勉 著河出書房新社

没後 50 年。コンテンポラリー・アート界において今も決定的な影響を持ち続けるマルセル・デュシャン。1964 年、NY にあるデュシャンの自宅で行なわれたインタヴューを収録する。聞き手へのインタヴューも併録。

2018:9./ 181p 978-4-309-25606-1 本体 ¥2,100+税

産経新聞 2018/10/07



対談・吉田茂という反省~憲法改正をしても、吉田茂の反省がなければ何も変わらない~

阿羅 健一、杉原 誠四郎 著

自由社

吉田茂は第九条のもとで戦力を保持できることを知っていた、外務省の巨大な戦争 責任を隠した、冷淡な対応が日韓関係改善の機会を潰した...。2 人の近現代史家が 吉田茂を厳しく批判する。 2018:8./ 6p,400p 978-4-908979-10-1 本体 ¥2,500+税

産経新聞 2018/10/07



山怪~山人が語る不思議な話~<3>

田中 康弘 著

山と渓谷社

山に潜みしモノ、その正体は誰にも分からない-。山で働き暮らす人々が実際に遭遇した奇妙な体験を紹介する。3 は、「優しい狐と幻の椿」「追いつけない鈴音」「ツチノコの里」などを収録。現代版遠野物語。

2018:9./ 253p 978-4-635-32016-0 本体 ¥1,200+税

産経新聞 2018/10/07



明治裏面史~隠れたる事実~(講談社文芸文庫 い Z1)

伊藤 痴遊 著

講談社

「政治講談」というジャンルを確立した、講談師・初代伊藤痴遊。「徳川幕府の覆滅」 「明治政府の樹立」「大村益次郎の暗殺」など、維新前後から明治にかけての歴史を 部分的に分けて、人物本位に著述する。

2018:9./ 555p 978-4-06-512927-2 本体 ¥2,200+税



自衛隊防災 BOOK~自衛隊 OFFICIAL LIFE HACK CHANNEL~

マガジンハウス 編

マガジンハウス

人命救助、食料の確保や給水、緊急措置…。危機管理のプロ・自衛隊に伝わる、災害時のトラブルに対処するノウハウを、多数の写真でわかりやすく紹介する。日常生活に役立つテクニックも満載。

2018:8./ 155p 978-4-8387-3010-0 本体 ¥1,200+税

産経新聞 2018/10/13



カフェノナマエ~The Naming of Cats/Cafe is a difficult matter~

川口 葉子 著

キノブックス

映画の題名、動物たち、造語、偶然が生んだ奇跡…。店名には、こんなにも人を惹きつける物語が隠れてる! 全国 208 軒のカフェ・喫茶店の「お店の名前の由来」を、美しい写真とともに紹介する。

2018:4./ 255p 978-4-908059-91-9 本体 ¥1,700+税

産経新聞 2018/10/14



選べなかった命~出生前診断の誤診で生まれた子~

河合 香織 著

文藝春秋

現在の母体保護法では障害を理由にした中絶は認められていない。誤診で提訴した 母親に病院側はそう反論し…。家族とは? 生きるとは? 出生前診断を巡る様々な当 事者たちの声から紡ぐノンフィクション。 2018:7./ 245p 978-4-16-390867-0 本体 ¥1,700+税

産経新聞 2018/10/14



冷たい檻

伊岡 瞬著

中央公論新社

村の駐在所から失踪した警官の行方を追う、後任の警官と調査官。彼らは、過去に発生した事件や事故が、村に存在する大型複合福祉医療施設に関係していることに気付き...。『読売プレミアム』連載に大幅加筆、改題し単行本化。

2018:8./ 472p 978-4-12-005108-1 本体 ¥1,900+税

産経新聞 2018/10/14



新•水滸後伝<上巻>

田中 芳樹 著

講談社

方臘征伐のあと、散り散りとなった梁山泊の好漢たち。不思議な縁に導かれ、再結集 した面々は、悪を懲らしめ弱きを助け、理想に向かってひた走る。「水滸伝」の後日を 描いた中華歴史伝奇。 2018:7./ 296p 978-4-06-512170-2 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2018/10/14



新•水滸後伝<下巻>

田中 芳樹 著

講談社

北からは金軍、西からは謎の術師・薩頭陀。強大な敵と対峙する梁山泊の好漢たちが、新たな仲間とともにたどり着く新天地とは?「水滸伝」の後日を描いた中華歴史伝奇。

2018:7./ 297p 978-4-06-512253-2 本体 ¥1,600+税



オブジェクタム

高山 羽根子 著朝日新聞出版

小学生の頃、祖父はいつも秘密基地で壁新聞を作っていた。大人になった今、記憶の断片をたどると、ある事件といくつもの謎が浮かんでは消え…。表題作をはじめ、第2回林芙美子文学賞受賞作「太陽の側の島」など全3編を収録。

2018:8./ 165p 978-4-02-251564-3 本体 ¥1,300+税

産経新聞 2018/10/14



無法者が塗り替える中東地図

宮田 律 著 毎日新聞出版

中東の戦争に前のめりになるトランプ政権。米国やイスラエルの枢軸国と、ロシアや中国の対立軸から現在の世界の地戦略(地政学+地形学)の構図を考え、その対立軸における日本の役割をイスラム研究の第一人者が徹底解析する。

2018:9./ 287p 978-4-620-32543-9 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2018/10/14



ある日失わずにすむもの~twelve antiwar stories~

乙川 優三郎 著

徳間書店

ようやく築いた生活とジャズの夢を奪われるマーキス/アメリカ。大切な人生の仲間と自負を失うワイン農家のホセ/スペイン…。過酷な世界に抗する人々を丹念に切り取る12篇の物語を収録。『読楽』掲載に加筆修正し単行本化。

2018:8./ 204p 978-4-19-864667-7 本体 ¥1,700+税

産経新聞 2018/10/14



教養派知識人の運命~阿部次郎とその時代~(筑摩選書 0165)

竹内 洋 著

筑摩書房

「三太郎の日記」による絶頂、そしてその後の波乱と翳り-。同時代の知識人たちとの関係や教育制度から、大正教養主義の代表者・阿部次郎の生涯に迫る評伝。落胆の中でも失われなかった精神の輝きに、「教養」の可能性を探る。

2018:9./ 450p 978-4-480-01672-0 本体 ¥2,000+税

産経新聞 2018/10/14、読売新聞 2018/10/21、日本経済新聞 2018/10/27



買いものは投票なんだ~EARTH おじさんが教えてくれたこと~

フォレスト出版

今からこの星で君たちが起こしている問題を伝えていくよ-。子どもたちの未来を少しだけよくするために、今すぐできることを、EARTH おじさんがナビゲート。買いものを通して社会を変えることを提案するイラストブック。

2018:9./ 39p 978-4-86680-900-7 本体 ¥1,200+税

産経新聞 2018/10/20



わらいじぞう(帚木蓬生&小泉るみ子民話シリーズ 3)

帚木 蓬生、小泉 るみ子 著

女子パウロ会

7 歳のかなは、畑で仕事をするお父さんとお兄さんに、お昼の弁当を届けに行きます。道の途中にあるおじぞうさんは、いつも微笑んでいて、かなは大好きでした。帰り道、おじぞうさんは、もっとにっこり笑ったような気がして...。

2018:5./ 31p 978-4-7896-0792-6 本体 ¥1,200+税



弘兼流 50 歳からの定年準備~人生後半を自分のために生きるコツ~

弘兼 憲史 著

東洋経済新報社

人と競うのは、もう止めよう。孤立を避けて、孤独を楽しもう。家庭に「居場所」を見つけよう。恋愛に定年なし-。50代に向けて、自分なりの楽しみや生きがいを見つけるヒントを提案する。

2018:8./ 190p 978-4-492-04628-9 本体 ¥1,000+税

産経新聞 2018/10/21



すぐ死ぬんだから

内館 牧子 著

講談社

美しさや若さを保つ努力を怠らない 78 歳の忍ハナ。息子の嫁が自分に手をかけず 貧乏くさい、ということだけが不満の幸せな老後を送っていたが、夫が倒れたことから 思いがけない裏を知り...。『小説現代』連載を加筆し単行本化。 2018:8./ 323p 978-4-06-512585-4 本体 ¥1,550+税

産経新聞 2018/10/21



地形図を読む技術~すべての国土を正確に描いた基本図を活用する極意~(サイエンス・アイ新書 SIS-415)

山岡 光治 著 SBクリエイティブ

「クワガタ」がいそうな森はどこにある? 等高線から「尾根」と「谷」を探すには? 地形図に「道路」がなくても歩ける場所は? 国土地理院がつくる 2 万 5 千分の 1 地形図から情報を読み取る技術を紹介する。

2018:8./ 286p 978-4-7973-9884-7 本体 ¥1,200+税

産経新聞 2018/10/21



比べず、とらわれず、生きる(PHP 文庫 ま 51-5)

枡野 俊明 著

PHP研究所

ただ「今」という一瞬を丁寧に生きる-。「本来無一物」「歳月不待人」など、受け継がれてきた数多の禅語を道しるべに、心が静まる考え方や暮らし方、振る舞い方といった毎日の習慣を紹介します。

2018:9./ 221p 978-4-569-76857-1 本体 ¥680+税

産経新聞 2018/10/21



木の実のたんけん(ぼくの自然観察記)

おくやま ひさし 著

少年写真新聞社

おいしい木の実は、人間だけでなく、森の動物たちにとっても大切な食べ物です。ユスラウメ、ハマナス、アケビ...。家のまわりや、水辺・海辺、雑木林・森など、いろいろな場所で見つけた木の実を絵と写真で紹介します。

2018:9./ 47p 978-4-87981-645-0 本体 ¥1,800+税

産経新聞 2018/10/21



中国と日本 二つの祖国を生きて

小泉 秋江 著

集広舎

1953 年、中国人軍医の父と日本人教師の母の間に生まれた著者は、「大躍進」運動や「文化大革命」の下で<生き地獄>を体験する。日本への「帰国」後も続く生活の困難…。長く過酷な運命に翻弄された生涯を克明に綴る。

産経新聞 2018/10/21

2018:9./ 269p 978-4-904213-63-6 本体 ¥1,500+税



光の人

今井 彰 著

文藝春秋

激動の戦後、1000 人の孤児たちの命と未来を守りぬいた人がいた。職も我欲もなげうって、半世紀に及ぶ茨の道を歩いた…。「プロジェクト X」の元プロデューサーが、実在の人物をモデルに描いた感動の物語。

2018:9./ 346p 978-4-16-390897-7 本体 ¥1,800+税

産経新聞 2018/10/21、読売新聞 2018/10/28



JAL の奇跡~稲盛和夫の善き思いがもたらしたもの~

大田 嘉仁 著

致知出版社

稲盛経営哲学の集大成とも言える JAL の奇跡の再生。なぜ、不可能といわれた JAL 再生は可能になったのか? 稲盛和夫から最も信頼される著者が、稲盛の経営の根幹となる成功方程式をもとに、その一部始終を詳述する。

2018:9./ 262p 978-4-8009-1189-6 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2018/10/27



総括せよ!さらば革命的世代~50 年前、キャンパスで何があったか~(産経 NF 文庫 S-5さ)

産経新聞取材班 著

潮書房光人新社

全共闘世代の存在は、わが国にどのような功罪を与えたのか。50年前、キャンパスで何が起きたのか。彼らが社会から引退してしまう前に「総括」する。"女王"重信房子とその娘メイのインタビューも収録。

2018:11./ 269p 978-4-7698-7005-0 本体 ¥800+税

産経新聞 2018/10/27



ウェールズ語の歴史

ジャネット・デイヴィス、小池 剛史 著

古代ケルト民族ブリトン人のことばであるウェールズ語。英語の圧倒的な影響のもとで 力強くしなやかに生き抜いてきた、その長い歴史と文化をわかりやすく解説。国勢調 査が示す現代の使用状況や発音・文法も紹介する。 2018:8./ 310p 978-4-86110-608-8 本体 ¥2,700+税

産経新聞 2018/10/28



星のなまえ

高橋 順子 著

白水社

古代から現代に至る人びとの星を見るまなざしの美しさ、険しさに、私は心をおののかせた…。星にまつわる多様な表現を逍遙し、民話から星占いまで諸作品を幅広く紹介する。「水のなまえ」の姉妹篇。

2018:9./ 224p 978-4-560-09652-9 本体 ¥2,300+税

産経新聞 2018/10/28



ある葬儀屋の告白

キャレブ・ワイルド、鈴木 晶 著

飛鳥新社

「死は生の正常な一部である」生後すぐの赤ん坊、薬物中毒の男、がんと闘病していた少女…。あらゆる形の死に接した葬儀屋が、大切な人を失った人々に寄り添い続けるうちに到達した、新たな死の見方を綴る。

産経新聞 2018/10/28

2018:8./ 204p 978-4-86410-625-2 本体 ¥1,574+税



ダンデライオン

中田 永一 著

小学館

「2019-10-21 0:04。ベンチで待機 パトカーの音 犬が三度鳴く 背後から殴られる」 11 歳の僕は、目が覚めたら大人になっていた。ノートには、誰も知らない未来のことが書かれていて...。青春ミステリー。

2018:10./ 237p 978-4-09-386499-2 本体 ¥1,500+税

産経新聞 2018/10/28



人類滅亡小説

山田 宗樹 著 幻冬舎

雲の中の微生物が変異・大量発生し、周囲の酸素を吸収するように。自重で雲が落下した地点は急激な酸欠状態になり、生物は死んでしまう。予測不能の事態に有効な手立てを見いだせない人間は、いかに生きるのかを選び始め...。

2018:9./ 425p 978-4-344-03357-3 本体 ¥1,800+税

産経新聞 2018/10/28



蕪村~己が身の闇より吼て~

小嵐 九八郎 著

講談社

20 歳までのことをまるで秘密にし、29 歳で俳号を蕪村に改め、若い時の恋愛の形跡 もなくて 45 歳ごろ結婚。画・句・書を股にかけた奔放さと深さ...。江戸俳諧の巨匠、 与謝蕪村の輝きと内面の闇を解き明かす、長編歴史小説。 2018:9./ 349p 978-4-06-512594-6 本体 ¥1,950+税

産経新聞 2018/10/28



墓が語る江戸の真実(新潮新書 786)

岡崎 守恭 著

新潮社

その墓はなぜそこにあり、誰が建てたのか?並び方の意味は?春日局の執念、お由羅騒動の真相、家光兄弟の確執、越前家始祖の本心など、墓が語る江戸時代の愛憎と恩讐の物語 10 話を紹介する。

2018:10./ 203p 978-4-10-610786-3 本体 ¥740+税

産経新聞 2018/10/28



戦後国際秩序の終わり~世界の中の日本~

千野 境子 著

連合出版

新しい秩序構築に向けて、日本が果たす役割とは? 湾岸戦争・危機、9・11、国際貢献・PKO、ポル・ポト派、北朝鮮、日韓関係、沖縄の本土復帰、原発といった、これまでの世界と日本の関係・問題点について考える。

2018:10./ 294p 978-4-89772-303-7 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2018/10/28

革命的な、あまりに革命的な~「1968年の革命」史論~

? 秀実 著

作品社

「20 世紀唯一の世界革命」1968 年に至る、60 年代日本の政治的・思想的・文化的パラダイム・シフトと、その現在性を克明に描き出す長編評論。日本現代史に新たなパースペクティブをひらく!

2003:5./ 395p 978-4-87893-554-1 本体 ¥3,200+税



1968<上> 若者たちの叛乱とその背景

小熊 英二 著

新曜社

「あれ」は何だったのか、なぜ起きたのかー。当時の政治・経済状況や、「全共闘世代」の文化的背景などを検証し、「あの時代」をよみがえらせる。上巻は、60 年安保闘争から日大闘争、安田講堂攻防戦までを描く。

2009:7./ 1,091p 978-4-7885-1163-7 本体 ¥6,800+税

朝日新聞 2018/10/06



1968<下> 叛乱の終焉とその遺産

小熊 英二 著

新曜社

「あれ」は何だったのか、なぜ起きたのかー。当時の政治・経済状況や、「全共闘世代」の文化的背景などを検証し、「あの時代」をよみがえらせる。下巻は、高校闘争から内ゲバ、ベ平連、連合赤軍、リブまでを描く。

2009:7./ 1,011p 978-4-7885-1164-4 本体 ¥6,800+税

朝日新聞 2018/10/06

No Image

万延元年のフットボール

大江健三郎 著

講談社

朝日新聞 2018/10/06

1967:9./ 393p 978-4-06-112182-9 本体 ¥1,748+税

No Image

世界の十大小説<上>(岩波文庫 赤 254-4)

W.S.モーム 著

岩波書店

イギリスの作家モームが、世界文学のなかから小説 10 篇を選び、その作者と作品について実作者の視点から論じたユニークな文学論。小説を読む楽しさを主眼に人間像に迫り、作品が生みだされる過程を生きいきと描く。

2015:5./ 316p 978-4-00-322544-8 本体 ¥780+税

* 9 7 8 4 0 0 3 2 2 5 4 4 8 *

朝日新聞 2018/10/06

No Image

世界の十大小説<下>(岩波文庫 赤 254-5)

W.S.モーム 著

岩波書店

イギリスの作家モームが、世界文学のなかから小説 10 篇を選び、その作者と作品について実作者の視点から論じたユニークな文学論。小説を読む楽しさを主眼に人間像に迫り、作品が生みだされる過程を生きいきと描く。

1997:10./ 349p 978-4-00-322545-5 本体 ¥840+税

朝日新聞 2018/10/06



1968<1> 文化(筑摩選書 0154)

四方田 犬彦 著

筑摩書房

1968?72 年の 5 年間、映画、演劇、音楽、写真、舞踏、流行、図像、雑誌の領域で生じていたさまざまな現象を前景化し、歴史的な記憶として、写真や図版資料とともに甦らせる。

978-4-480-01661-4 本体 ¥2,400+税

2018:1./368p,36p



じっと手を見る

窪 美澄 著 幻冬舎

富士山を望む町で介護士として働く、かつて恋人同士だった日奈と海斗。東京に住む宮澤と出会い、この町以外に思いを馳せる日奈。一方、海斗は同僚と仲を深め町に縛り付けられていく…。『GINGER L.』他掲載を書籍化。

2018:4./ 279p 978-4-344-03275-0 本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2018/10/06



ハレルヤ

保坂 和志 著

新潮社

生きている時間も死んでいる時間も、光や歓びや恩恵に満ちている-。片目の猫、花ちゃんとの最後の日々を描いた表題作のほか、川端康成文学賞受賞作「こことよそ」など、生きること・死ぬことの発見を描いた4つの短篇を収録。

2018:7./ 173p 978-4-10-398208-1 本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2018/10/06



衣・食・住・音~音楽仕事を続けて生きるには~

角張 渉、木村 俊介 著

リトル・モア

日本の音楽シーンで独自の存在感を放つインディペンデントレーベル・カクバリズム。 22 歳でレーベルを立ち上げた著者が、リスクの大きさ、難しさ、それ以上に得られる 興奮ややりがい、面白さを自分の言葉で語る。 2018:7./ 389p 978-4-89815-479-3 本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2018/10/06



エドガルド・モルターラ誘拐事件~少年の数奇な運命とイタリア統一~

デヴィッド・I.カーツァー、漆原 敦子 著

早川書房

1858 年、ボローニャ。時の教皇ピウス 9 世は、なぜユダヤ人商人の 6 歳の息子エドガルド・モルターラを連れ去ったのか? イタリア統一の過程における重要なエピソード「モルターラ事件」の知られざるドラマを描く。

2018:8./ 568p 978-4-15-209790-3 本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2018/10/06



アフター・ヨーロッパ~ポピュリズムという妖怪にどう向きあうか~

イワン・クラステフ、庄司 克宏 著

岩波書店

移民革命、能力主義的エリートへの反乱等、内部的危機に直面している EU 諸国の リベラル・デモクラシー体制。ソ連解体と東欧革命を体験したブルガリアの知識人が、 透徹した歴史的視座から「アフター・ヨーロッパ」を考察する。 2018:8./ 6p,126p,6p 978-4-00-061286-9 本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2018/10/06



異端の時代~正統のかたちを求めて~(岩波新書 新赤版 1732)

森本 あんり 著

岩波書店

世界に蔓延するポピュリズムは民主主義の異端なのか。古代中世の神学史、丸山眞男らの議論を手がかりに、宗教・政治・文化に通底する「異端発生のメカニズム」を解明し混迷する時代の深層に迫る。正統と異端の通念を覆す洞察。

978-4-00-431732-6 本体 ¥860+税

2018:8./ 5p,254p



太陽は気を失う(文春文庫 お 27-5)

乙川 優三郎 著

文藝春秋

生死を分けたあの時間、男女が終わった瞬間、人生で最も大きな後悔と向き合う最後の時…。人生の分岐点や終着点を端正な文章で切り取った、14 の芳醇な現代短編。

2018:9./ 319p 978-4-16-791135-5 本体 ¥680+税

朝日新聞 2018/10/06



袋師が見る数寄の名脇役 茶の裂

三浦 和子 著

淡交社

表具の裂(きれ)として本紙を引き立て、仕覆として茶入に添い、帛紗として茶人の格を支える裂。 侘び数寄の最後とされる「裂」に焦点を当て、その魅力に迫るとともに、 道具との取り合わせ、修復についても説明する。

2018:8./ 127p 978-4-473-04258-3 本体 ¥2,600+税

朝日新聞 2018/10/06



デズモンド・モリスの猫の美術史

デズモンド・モリス、柏倉 美穂 著 エクスナレッジ

動物行動学者デズモンド・モリスが古今東西の猫の絵の秘密を解き明かす。古代エジプトから、現代のストリート・アートまで、猫の"かわいい!"と"なるほど!"がつまった134点をオールカラーで紹介する。

2018:7./ 247p 978-4-7678-2492-5 本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2018/10/06



新作能「沖宮」イメージブック~魂の花-緋の舟にのせて~

石牟礼 道子、志村 ふくみ、石内 都 著

求龍堂

現代日本への危機感を募らせた石牟礼道子と志村ふくみが、次世代へのメッセージを託した新作能「沖宮」のイメージブック。舞台となった天草・島原の風景や志村の能衣裳の写真、石牟礼・志村の詩文などを収録する。

2018:9./ 165p 978-4-7630-1813-7 本体 ¥3,800+税

朝日新聞 2018/10/06



山口組と日本~結成 103 年の通史から近代を読む~(祥伝社新書 544)

宮崎 学著

祥伝社

1915 年、神戸に誕生した山口組。それから 103 年、暴力団対策法と暴力団排除条例の施行など、日本最大・最強のヤクザ組織の姿は時代とともに移ろってきた。山口組の足跡を丹念に辿り、日本の"もうひとつの姿"を描く。

2018:8./ 287p 978-4-396-11544-9 本体 ¥860+税

朝日新聞 2018/10/06



NETFLIX の最強人事戦略~自由と責任の文化を築く~

パティ・マッコード、櫻井 祐子 著

光文社

業界最高水準の給料を払う、将来の業務に適さない人に辞めてもらう、人事考課制度は時間と労力のムダ...。従来の成功方程式を全否定するほどの激変で急成長を遂げた「NETFLIX」の人事戦略を紹介する。

2018:8./ 243p 978-4-334-96221-0 本体 ¥1,600+税



日本敵討ち集成(角川文庫 時-は60-2)

伊東 昌輝 編長谷川 伸著

KADOKAWA

源頼朝、曾我兄弟、大石内蔵助…。日本の歴史上の敵討ちを、膨大な資料を繙き、 丹念に書き起こした未発表草稿の中から、27 篇を厳選。平岩弓枝の寄稿も収録する。「日本敵討ち異相」も同時刊行。 2018:9./ 279p 978-4-04-106745-1 本体 ¥720+税

朝日新聞 2018/10/06



図説江戸の暮らし事典

企画集団エド 著 芙蓉書房出版

現代の暮らしは江戸時代の延長線上にある。おもわず感心してしまう江戸人の知恵と 工夫が詰まった、衣食住、遊びや旅、祈りにまつわる江戸期の道具を、約 1000 点の 写真と図版で詳しく紹介する。 2018:9./ 237p 978-4-8295-0744-5 本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2018/10/06



100歳の秘訣(新潮新書 780)

歌代 幸子 著

新潮社

全員現役! フォトジャーナリスト、プロゴルファー、精神科医、俳人…。100 歳を越えてなお活躍し続ける10人が、健康の秘訣、食事、思考法、仕事への取り組み、波瀾万丈の人生を語り尽くす。『新潮45』連載を単行本化。

2018:9./ 223p 978-4-10-610780-1 本体 ¥760+税

朝日新聞 2018/10/06



タイムトラベル~「時間」の歴史を物語る~

ジェイムズ・グリック、夏目 大著

柏書房

時間とはいったい、何なのだろうか? 未来や過去へ行けたらどういう問題が発生し得るのか? 「タイムマシン」「失われた時を求めて」や村上春樹、アインシュタインなど、古今の物語&偉人の考えを通して考察する。

2018:9./ 445p 978-4-7601-4985-8 本体 ¥2,700+税

朝日新聞 2018/10/06



みな、やっとの思いで坂をのぼる~水俣病患者相談のいま~

永野 三智 著

ころから

水俣病センター相思社で患者相談などを担当する水俣市生まれの著者が、生まれ故郷でいまもタブーとされる水俣病事件の当事者やその家族たちとの交感を綴る。相思社の機関紙『ごんずい』連載を加筆して単行本化。

2018:9./ 251p 978-4-907239-28-2 本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2018/10/06



辺野古〜海と森がつなぐ命〜

中村 卓哉 著

クレヴィス

森、川、干潟、海のすべてがつながって、辺野古周辺の多種多様な生きものたちを育んでいる。水中写真家が、埋め立て予定地周辺の自然の真実に迫ったドキュメント作品 200 点余を収録。 見返しにも写真あり。

朝日新聞 2018/10/06

2018:9./ 191p 978-4-909532-11-4 本体 ¥2,315+税



スポーツの世界史

坂上 康博、中房 敏朗、石井 昌幸、高嶋 航 著一色出版

世界の経済や文化に影響を与え、人びとを熱狂させるスポーツ。各地域の歴史的な特徴を示すテーマやエピソードをふんだんに盛り込みつつ、スポーツの歴史を描き出す。ウェブ上で本文を閲覧できるシール式のパスワード付き。

2018:9./ 653p 978-4-909383-04-4 本体 ¥4,500+税

朝日新聞 2018/10/06

No Image

めんつゆひとり飯<1>(バンブーコミックス)

瀬戸口 みづき 著 竹書房 朝日新聞 2018/10/06 2018:9./ 107p 978-4-8019-6384-9 本体 ¥750+税



牧水の恋

俵 万智 著 文藝春秋

旅と酒の歌人・若山牧水は、恋の歌人でもあった。若き日をささげた恋人の持つ秘密 とは。高校時代に牧水の短歌に出会って心から共感した著者が、牧水の恋の絶頂か ら疑惑、別れまでの秀歌を味わいつくす評伝文学。 2018:8./ 290p 978-4-16-390888-5 本体 ¥1,700+税

朝日新聞 2018/10/06、産経新聞 2018/10/07、日本経済新聞 2018/10/13、東京・中日新聞 2018/10/14



アメリカとヨーロッパ~揺れる同盟の80年~(中公新書2504)

渡邊 啓貴 著

中央公論新社

冷戦、緊張緩和、中東危機、ソ連崩壊、9・11、そしてトランプ政権の現代…。複雑な 軌跡を歩んだ米欧の80年を、同盟関係に軸足を置きながら論じ、現代史を動かし続 ける両者の姿の本質を描き出す。 2018:8./ 4p,240p 978-4-12-102504-3 本体 ¥820+税

朝日新聞 2018/10/06、読売新聞 2018/10/28



ならず者たちのギャラリー~誰が「名画」をつくりだしたのか?~

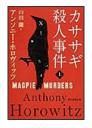
フィリップ・フック、中山 ゆかり 著

フィルムアート社

レンブラントを雇い、才能を開花させた男、セザンヌの市場価値をつくった男、ピカソらキュビストを発見し、応援した男...。サザビーズの競売人が、美術史と美術品の価値に影響を与えた魅力的な画商たちを紹介する。

2018:8./ 498p,12p 978-4-8459-1715-0 本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2018/10/06、日本経済新聞 2018/10/27



カササギ殺人事件<上>(創元推理文庫 Mホ 15-1)

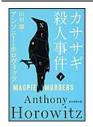
アンソニー・ホロヴィッツ、山田 蘭 著

東京創元社

1955 年 7 月、パイ屋敷の家政婦が階段の下で亡くなっていた。掃除機のコードに足を引っかけたのか、あるいは...。余命僅かな名探偵アティカス・ピュントの推理は? アガサ・クリスティへの愛に満ちたオマージュ・ミステリ。

2018:9./ 360p 978-4-488-26507-6 本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2018/10/06、毎日新聞 2018/10/06



カササギ殺人事件<下>(創元推理文庫 Mホ15-2)

アンソニー・ホロヴィッツ、山田 蘭著

東京創元社

名探偵アティカス・ピュントの最新作の原稿を結末部分まで読んだ編集者は、あまりのことに激怒する。さらに予想もしない事態が編集者を待っていて...。アガサ・クリスティへの愛に満ちたオマージュ・ミステリ。

2018:9./ 382p 978-4-488-26508-3 本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2018/10/06、毎日新聞 2018/10/06



醜い日本人~日本の沖縄意識~ 新版(岩波現代文庫 社会 14)

大田 昌秀 著

岩波書店

沖縄に関して、日本人は醜い一。沖縄返還交渉の進むなか著者はあえてこう断言し、憤りを冷徹な筆致に置きかえて、明治期から沖縄戦、アメリカ統治下にいたる沖縄と日本の関係を説き起こした。あれから 30 年、日本人は醜さから脱却できたのか。沖縄問題の原点を示した旧著に、沖縄県知事としての経験をふまえ加筆した新版。

2000:5./ 330p 978-4-00-603014-8 本体 ¥1,360+税

朝日新聞 2018/10/13



不屈~瀬長亀次郎日記~<第1部> 獄中

瀬長 亀次郎、琉球新報社 著琉球新報社 朝日新聞 2018/10/13 2007:11./ 358p 978-4-89742-087-5 本体 ¥1,667+税



不屈~瀬長亀次郎日記~<第2部> 那覇市長

瀬長 亀次郎、琉球新報社 著

琉球新報社

那覇市長を務めていた瀬長亀次郎による、1956 年 8 月 2 日~1958 年 1 月 17 日の日記を掲載。米国統治下、軍政府の強圧に真っ向から立ち向かった不屈の精神・行動力を読み取る。『琉球新報』連載を修正追加し単行本化。

2009:4./ 419p 978-4-89742-100-1 本体 ¥2,190+税

朝日新聞 2018/10/13



正義論 改訂版

ジョン・ロールズ 著

紀伊國屋書店

功利主義の「最大多数の最大幸福」に取って代わる「公正としての正義」とは。社会契約の伝統的理論を受け継ぎ、直観と論理が導く「正義の二原理」のなかに個人と社会のあるべき姿を指し示す名著。原著改訂版の翻訳。

2010:11./ 800p 978-4-314-01074-0 本体 ¥7,500+税

朝日新聞 2018/10/13



不屈~瀬長亀次郎日記~<第3部> 日本復帰への道

琉球新報社 編 瀬長 亀次郎 著 琉球新報社

那覇市長を務めていた瀬長亀次郎による、1958 年 1 月 22 日~1972 年 11 月 10 日の日記を掲載。時代背景などの解説、USCAR 文書なども収録。『琉球新報』連載を修正追加し単行本化。

朝日新聞 2018/10/13

2011:8./ 487p 978-4-89742-132-2 本体 ¥2,362+税



戦う民意

翁長 雄志 著

KADOKAWA

沖縄の危機は日本の民主主義の危機。「米軍基地の辺野古移設問題」に際し、なぜ 安倍総理は知事に会おうとしなかったのか? なぜ「民意」は置き去りにされるのか? こ の国の地方自治や安全保障の在り方などを問う。

2015:12./ 231p 978-4-04-103596-2 本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2018/10/13



みる・よむ・あるく東京の歴史<1> 通史編

吉田 伸之 編 吉川弘文館

史料を「みて」「よんで」その痕跡を「あるく」ことで東京の歴史を読み解く。1 は、武蔵 国府の設置、武士団の成長、小田原北条氏の支配の下で営まれる人びとの暮らしや 社会の動きに視点を置き、先史?戦国時代の歩みを描く。

2017:10./ 4p,152p,3p 978-4-642-06826-0 本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2018/10/13



独身者たち

ロザリンド・E.クラウス、井上 康彦 著 平凡社

クロード・カーアン、ドラ・マール、シンディ・シャーマンなど 9 人の女性写真家を「独身 者」として取り上げ、女性とアヴァンギャルド、とりわけシュルレアリスムとの関係という 古くて新しいテーマを定位し直す。

2018:8./ 247p 978-4-582-23129-8 本体 ¥3,600+税

朝日新聞 2018/10/13



オランウータン~森の哲人は子育ての達人~

久世 濃子 著

東京大学出版会

人間とは真逆な社会の特徴や理解困難な行動。困難なフィールド調査に挑んだ著者 が、自身の研究成果だけでなく、各国の研究者による研究成果を紹介し、オランウー タンの行動、生態、能力に関する最新の知見を伝える。

2018:7./ 18p,177p,17p 978-4-13-063349-9 本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2018/10/13



NO では足りない~トランプ・ショックに対処する方法~

ナオミ・クライン、幾島 幸子、荒井 雅子 著

岩波書店

トランプ大統領の登場という「ショック」をどう受けとめるか。惨事便乗型資本主義者の もくろみ、気候変動危機などについての理解をもとに、トランプ・ショックの対処法を明 晰なロジックで展開し、未来への展望を描く。

2018:7./ 10p,333p,4p 978-4-00-001825-8 本体 ¥2,600+税

朝日新聞 2018/10/13



不道徳お母さん講座~私たちはなぜ母性と自己犠牲に感動するのか~

堀越 英美 著

河出書房新社

「ごんぎつね」に感動させてどうする気? 母さんライターが歴史をさかのぼり、日本人 の「道徳観」がいかにつくられたかを明かし、「道徳」のタブーに踏み込み、解体する。 『cakes』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/10/13

2018:7./ 253p 978-4-309-02715-9 本体 ¥1,550+税



水の匂いがするようだ~井伏鱒二のほうへ~

野崎 歓 著

集英社

太宰治が「勉強しだいでは、谷崎潤一郎にはなれるけれども、井伏鱒二にはなれない」と評した作家の魅力とは。「井伏文学の面白さここにあり」というポイントを、心愉しくめぐる一冊。『すばる』掲載を単行本化。

2018:8./ 283p 978-4-08-771149-3 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2018/10/13



星系出雲の兵站<1>(ハヤカワ文庫 JA 1340)

林 譲治 著

早川書房

人類の播種船により植民された五星系文明。その主星である出雲は、人類外の無人衛星が発見された壱岐星系への介入を決定する。双方の政治的・軍事的思惑が入り乱れるなか、衛星の正体が判明し...。

2018:8./ 378p 978-4-15-031340-1 本体 ¥840+税

朝日新聞 2018/10/13



おいしいデ

梅原 真 著羽鳥書店

ローカルの一次産業のデザインを長年てがけ、マイナスをプラスに転換して「あたらしい価値」を生み出してきた梅原真。"絶体絶命"の淵にいる生産者の志に応える、26の仕事を紹介する。

2018:6./ 269p 978-4-904702-71-0 本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2018/10/13



デカルト(文庫クセジュ 1022)

ロランス・ドヴィレール 著

白水社

<無限なもの>すなわち<神>の人間による知解可能性に依拠して、哲学史の産物である<カルテジアニズム>という従来のデカルト理解を再考。その多面的な哲学の全体像を豊富な引用文とともに明らかにする。丁寧な訳注付き。

2018:9./ 215p,4p 978-4-560-51022-3 本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2018/10/13



声めぐり

齋藤 陽道 著 晶文社

「声」は伝わらない。「声」は沁みてすでにある。ぼくにとっての写真は、失われた「声」を、ふたたびめぐるための旅だった-。聾する身体をもつ写真家が、声と世界を取り戻すまでのエピソードを綴る。

2018:7./ 283p 978-4-7949-7030-5 本体 ¥1,850+税

朝日新聞 2018/10/13



異なり記念日(シリーズケアをひらく)

齋藤 陽道 著

医学書院

「聞こえる家族」に生まれたろう者の僕と、「ろう家族」に生まれたろう者の妻。 ふたりの間に、聞こえる子どもが授かった。 見る、話す、触れることの<歓び>とともに-。 身体と文化を異にする3人の生活の記録。

2018:7./ 231p 978-4-260-03629-0 本体 ¥2,000+税



最初の悪い男(CREST BOOKS)

ミランダ・ジュライ 著

新潮社

43 歳独身シェリルの孤独な箱庭的小宇宙に、美人で巨乳で足の臭い 20 歳のクリーが転がり込んできた。水と油のふたりの共同生活が臨界点をむかえたとき、幾重にも絡み合った人々が奇跡を紡ぎだし...。

2018:8./ 346p 978-4-10-590150-9 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2018/10/13



歪んだ波紋

塩田 武士 著

講談社

新聞、テレビ、週刊誌、ネットメディア-情報のプリズムは、武器にもなり、人間を狂わす。そして、「革命」を企む、"わるいやつら"が、いる。「誤報」にまつわる 5 つの物語。『小説現代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

2018:8./ 275p 978-4-06-512351-5 本体 ¥1,550+税

朝日新聞 2018/10/13



小説は君のためにある~よくわかる文学案内~(ちくまプリマー新書 309)

藤谷 治 著

筑摩書房

小説は役に立つ。人生を共に考える友だちになる。なぜそんなことになるのか。小説の特性と、それが小説を読む人にとってどのような役割を持ち、どんな可能性をもっているかを解き明かす。

2018:9./ 174p 978-4-480-68334-2 本体 ¥780+税

朝日新聞 2018/10/13



喫茶店の椅子とテーブル~村田商會がつないだこと~

村田 龍一 著

実業之日本社

喫茶店が閉店するとき、長年使われていた椅子やテーブルを引き取り、補修し、磨き、家具として再生するネットショップ「村田商會」。 開業以来縁のあった喫茶店の主人、家具の数々、客とのエピソードを綴る。

2018:7./ 143p 978-4-408-33783-8 本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2018/10/13



電話・睡眠・音楽(torch comics)

川勝 徳重 著

リイド社

第 21 回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品に選ばれた、俊英・川勝徳重の作品集。

2018:9./ 344p 978-4-8458-6001-2 本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2018/10/13



魔術師ペンリック(創元推理文庫 Fヒ5-14)

ロイス・マクマスター・ビジョルド、鍛治 靖子 著

東京創元社

ペンリック 19 歳。町へ行く途中、病で倒れた老女の最期を看取ったのが、すべての始まりだった。亡くなった神殿魔術師の老女に宿っていた魔が飛び移り、彼は年古りた魔を自分の内に棲まわせる羽目に…。五神教シリーズ。

978-4-488-58714-7 本体 ¥1,500+税

2018:9./560p



哲学<4> 確実性の探求(デューイ著作集 第1期第4巻)

ジョン・デューイ 著

東京大学出版会

アメリカの教育学者・哲学者として広く知られるデューイの著作集。4 は、1929 年にエディンバラ大学でおこなわれた講義をもとに刊行された「確実性の探求」を第一人者による新訳で収録。

2018:9./ 13p,278p 978-4-13-014204-5 本体 ¥4,500+税

朝日新聞 2018/10/13



いま宗教に向きあう<第1巻> 現代日本の宗教事情(国内編1)

池澤 優、藤原 聖子、堀江 宗正、西村 明、堀江 宗正 著岩波書店

よく無宗教だと言われる日本だが、地域社会でもビジネスでも、宗教に無関心ではいられない。 荒廃する地域の寺社、墓と寺の後継者問題、オウム事件後の新宗教...。 現代日本の宗教事情を明らかにする。

2018:9./ 15p,268p 978-4-00-026507-2 本体 ¥2,300+税

朝日新聞 2018/10/13



「働き方改革」の?~誰が得をして、誰が苦しむのか~(集英社新書 0948)

久原 穏 著

集英社

なぜ厚労省ではなく、経産省主導で進んだのか?「高プロ」にこだわる理由とは?雇用システムを流動化させようとするねらいは?「働き方改革」の問題点をまとめるとともに、その実像を明らかにする。

2018:9./ 235p 978-4-08-721048-4 本体 ¥840+税

朝日新聞 2018/10/13



竜のグリオールに絵を描いた男(竹書房文庫 し7-1)

ルーシャス・シェパード、内田 昌之 著

竹書房

奇想天外な方法で竜を殺そうとする男を描いた表題作や、巨竜が産み落とした宝石を巡る法廷ミステリ「始祖の石」など、「竜のグリオール」シリーズ全 7 本のうち前半 4 本の邦訳を収録。『SF マガジン』掲載に初訳を加え文庫化。

2018:9./ 431p 978-4-8019-1588-6 本体 ¥1,100+税

朝日新聞 2018/10/13



奇跡の本屋をつくりたい~くすみ書房のオヤジが残したもの~

久住 邦晴 著

ミシマ社

「なぜだ!?売れない文庫フェア」「中高生はこれを読め!」など、ユニークな企画を生み出した札幌・くすみ書房の店主・久住邦晴。2015年の閉店後に病が発覚し、2017年に他界した著者の遺稿を完全収録する。

2018:8./ 203p 978-4-909394-12-5 本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2018/10/13



劣化するオッサン社会の処方箋~なぜ一流は三流に牛耳られるのか~(光文社新書 967)

山口周著

光文社

古い価値観に凝り固まる、既得権益を手放さない、階層序列の意識が強い、異質なものに排他的。「オッサン」による下劣な悪事の数々は必然的に起きている-。「オッサン」が劣化した理由を考察し、日本社会の閉塞感を打ち破る。

978-4-334-04373-5 本体 ¥760+税

2018:9./ 211p



ニホンオオカミの最後~狼酒・狼狩り・狼祭りの発見~

遠藤 公男 著

山と渓谷社

ニホンオオカミはどうやって絶滅したのか? 東北の地で明治・大正を生き、オオカミを見てきた山の民の言葉を集め、藩政の書面をたどりながら、ニホンオオカミの最後に迫るノンフィクション。

2018:9./ 255p 978-4-635-23009-4 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2018/10/13



本社は田舎に限る(講談社+a 新書 797-1C)

吉田 基晴 著

講談社

東京では、募集しても人がまったく集まらない。どん底の IT ベンチャー企業社長が取った逆転の策、それが徳島県美波町へのオフィス移転。そこからすべてが大きく回り始め...。全国が注目する新しい仕事と生活のスタイルを綴る。

2018:9./ 214p 978-4-06-512779-7 本体 ¥860+税

朝日新聞 2018/10/13



the four GAFA~四騎士が創り変えた世界~

スコット・ギャロウェイ 著

東洋経済新報社

Google、Apple、facebook、amazon の戦略を分析、その強みのもとを中心に創り上げられた「神話」を指摘。彼らが人間の本能をどのように利用しているのかを解説し、次の10年を支配するルールを示す。

2018:7./ 416p,35p 978-4-492-50302-7 本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2018/10/13、日本経済新聞 2018/10/13



肉食の社会史

中澤 克昭 著山川出版社

日本人は、動物を殺して食べることに、いつから「うしろめたさ」を抱いてきたのか。中世日本の肉食文化を探り、獣肉食忌避の基調はいかに形成されたのか、実態との間にどのような葛藤があったのかを論考する。

2018:8./ 419p 978-4-634-15138-3 本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2018/10/13、日本経済新聞 2018/10/13



下町ロケット<3> ゴースト

池井戸 潤 著

小学館

ロケットエンジン用バルブシステムの納入先・帝国重工の業績悪化、主要取引先からの非情な通告、そして番頭・殿村に訪れた危機…。予期せぬトラブルにより窮地に陥った佃製作所で、社長・佃が下した意外な決断とは-。

2018:7./ 299p 978-4-09-386515-9 本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2018/10/14



玉瀬家、休業中。

まさき としか 著

講談社

何もかも元旦那に持っていかれた、超マイナス思考の澪子。ある日、姉の香波が金の無心にやってきて、ひさしぶりに実家で暮らすことを提案する。澪子は、娘たちの出戻りを笑い飛ばす母のがさつさに傷つくが...。

2018:8./ 238p 978-4-06-512207-5 本体 ¥1,400+税



ことことこ一こ

阿川 佐和子 著

KADOKAWA

結婚 10 年目に離婚し、実家に戻った香子。フードコーディネーターとしての新たな 人生を歩み出した矢先、母・琴子に認知症の症状が...。 笑いと希望の介護小説。 学 芸通信社配信による『徳島新聞』ほか連載を加筆し単行本化。 2018:9./ 387p 978-4-04-107101-4 本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2018/10/14、読売新聞 2018/10/14



人さらい

翔田 寛 著

小学館

静岡県浜松中央署管内で、小学 4 年生の千夏ちゃんが誘拐された。犯人は、千夏の母に身代金 1 億円を持って、浜松駅からタクシーに乗車するよう命じるが…。『STORY BOX』掲載に加筆し単行本化。

2018:9./ 270p 978-4-09-386520-3 本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2018/10/14、読売新聞 2018/10/21



父からの手紙~長編小説~(光文社文庫)

小杉 健治 著 光文社 朝日新聞 2018/10/20 2006:3./ 428p 978-4-334-74032-0 本体 ¥648+税



グレート・ギャツビー(村上春樹翻訳ライブラリー)

スコット・フィッツジェラルド 著

中央公論新社

繊細に鮮やかに描写された情景と、精緻に、多義的に言語化された情念や感情に彩られた、哀しくも美しいひと夏の物語…。村上春樹が人生で巡り会った最も大切な小説が、新しい翻訳で鮮やかに甦る!

2006:11./ 356p 978-4-12-403504-9 本体 ¥820+税

朝日新聞 2018/10/20

No Image

No Image

ジョバンニの父への旅~別役実戯曲集~

別役実 著 三一書房

朝日新聞 2018/10/20

1988:2./ 218p 978-4-380-88248-7 本体 ¥1,301+税

1

さらば麗しきウィンブルドン(中公文庫)

深田 祐介 著 中央公論新社 朝日新聞 2018/10/20 1997:10./ 397p 978-4-12-202961-3 本体 ¥781+税



女子テニスと私~東レ PPO との 30 年を振り返る~

野地 俊夫 著

創英社

女子テニス界のマイルストーン、「東レ パン・パシフィック・オープンテニス(東レPPO)」。グラフ、伊達、ヒンギス…。女子テニス界の俊英たちが輝く舞台を演出したトーナメントディレクターがその歴史を明かす。

2018:1./ 228p 図版 6 枚 978-4-88142-317-2

本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2018/10/20



マリア・シャラポワ自伝

マリア・シャラポワ、金井 真弓 著

文藝春秋

貧しい少女時代、ステージパパ、遅い初恋、世界ランキング 1 位、そしてドーピング 騒動…。ロシアで生まれ、6歳のときにアメリカに移住。テニス選手としてこれまで 5 回 グランドスラムで優勝したマリア・シャラポワの自伝。 2018:6./ 324p 978-4-16-390862-5 本体 ¥2,100+税

朝日新聞 2018/10/20



文字渦

円城 塔著

新潮社

秦の始皇帝の陵墓から発掘された 3 万の漢字。昔、文字は生きていた?! 表題作ほか、文字の起源から未来までを幻視する全 12 編を収録。『新潮』連載をまとめて単行本化。

2018:7./ 302p 978-4-10-331162-1 本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2018/10/20



面倒くさい女たち(中公新書ラクレ 629)

河合 薫 著

中央公論新社

なぜ、女性政治家は失敗するのか? なぜ、女は相談にきて怒るのか? なぜ、女の会議は長いのか? なぜ、女のほうがしぶといのか? 職場・社会にはびこる「面倒くさい女たち」の実態と発生原因を探り、その解決法を考える。

2018:8./ 214p 978-4-12-150629-0 本体 ¥840+税

朝日新聞 2018/10/20



現場者~300の顔をもつ男~(文春文庫 お75-1)

大杉 漣 著文藝春秋

現場で喜び、現場で傷つき、現場で生きる...。若き日の劇団時代から北野武映画の現場まで、唯一無二の存在感を放ってきた俳優・大杉漣の軌跡。大杉弘美の特別寄稿も収録する。

2018:9./ 279p 978-4-16-791144-7 本体 ¥720+税

朝日新聞 2018/10/20



田中角栄~同心円でいこう~(ミネルヴァ日本評伝選)

新川 敏光 著ミネルヴァ書房

日中国交正常化などの政策への再評価が進む一方、ロッキード事件等で金権政治の権化とも批判された政治家・田中角栄。彼が目指した政治とは何だったのか。田中政治の軌跡を辿りながら、戦後民主主義を再考する。

2018:9./ 8p,281p,7p 978-4-623-08425-8 本体 ¥2,400+税



土 地球最後のナゾ~100 億人を養う土壌を求めて~(光文社新書 962)

藤井 一至 著

光文社

世界の土はたった 12 種類。毎日の食卓を支え、地球の未来を支えてくれる本当に 「肥沃な土」はどこに? そもそも土とは一体何なのか? 泥にまみれて地球を巡った研 究者が、土の不思議な魅力を語る。

2018:8./ 219p 978-4-334-04368-1 本体 ¥920+税

朝日新聞 2018/10/20



ルイ・アルチュセール~行方不明者の哲学~(岩波新書 新赤版 1738)

市田 良彦 著

岩波書店

「哲学と政治において「行方不明者」でなければならない。それが「私」の存在だ」 現 代思想を代表するマルクス主義理論家か、妻を殺めた狂気の人か。知られざるアル チュセールの哲学を浮かび上がらせる。

2018:9./ 3p,248p 978-4-00-431738-8

本体 ¥860+税

朝日新聞 2018/10/20



十代目柳家小三治(別冊太陽)

平凡社

落語界の至宝・柳家小三治。 最後の名人が考える 「落語」とはなにか? インタビュー やルポ、弟子が語る素顔などを通して、十代目柳家小三治の至芸の秘密、人生の来 歴まで、貴重なビジュアルと共に徹底的に解き明かす。

2018:9./ 127p 978-4-582-94587-4 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2018/10/20



別役実<2> ジョバンニの父への旅 諸国を遍歴する二人の騎士の物語(ハヤカワ演 劇文庫 45)

別役 実著

早川書房

銀河鉄道に乗ったジョバンニが放浪の旅から帰ってきた。街では父が無実の罪を着 せられていて...。「ジョバンニの父への旅」と「諸国を遍歴する二人の騎士の物語」を 収録。後続の劇作家に多大な影響を与え続ける著者の代表戯曲。

2018:10./ 240p 978-4-15-140045-2 本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2018/10/20



ヒットの設計図~ポケモン GO からトランプ現象まで~

デレク・トンプソン、高橋 由紀子 著

早川書房

スターウォーズ、ポケモン GO、フェイスブック...。なぜそれがヒットしたのか? 多くのメ ガヒットの作り手や仕掛け人に話を聞き、ネットワーク理論の専門家にも取材し、ヒット の背景にあるシンプルなルールを解き明かす。

2018:10./390p 978-4-15-209802-3 本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2018/10/20



やぶれかぶれ青春記・大阪万博奮闘記(新潮文庫 こ-8-12)

小松 左京 著

新潮社

作家・小松左京の原点を知る上で必読のテキスト。戦時下の旧制中学時代と戦後の 旧制高校生活を描いた自伝的青春小説「やぶれかぶれ青春記」ほか、ブレーンとし て関わった大阪万博について綴った手記を収録。

978-4-10-109712-1 本体 ¥630+税

2018:10./395p



団地の給水塔大図鑑

小山 祐之 著 シカク出版

色も形も個性豊かに、団地の暮らしを支える給水塔。「団地にある給水塔」400 基超のメインビジュアルに、建設年や著者による一言メモといった情報を添えて紹介する。 珍給水塔レポート、ディテール図鑑なども収録。

2018:10./ 221p 978-4-909004-75-8 本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2018/10/20



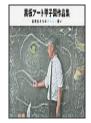
試験に出る哲学~「センター試験」で西洋思想に入門する~(NHK 出版新書 563)

斎藤 哲也 著

NHK出版

「センター試験・倫理」を導きに、哲学をサクッと身につける! ソクラテス、プラトンから ニーチェ、ウィトゲンシュタインまで厳選 20 問にチャレンジし、解説とイラストを楽しむ うちに西洋思想の基本を学べる一冊。 2018:9./ 261p 978-4-14-088563-5 本体 ¥860+税

朝日新聞 2018/10/20



黒板アート甲子園作品集~高校生たちの消えない想い~

日学株式会社 著

日東書院本社

全国の高校生たちが学校の「黒板」をキャンバスに描く黒板アート甲子園の作品集。 2016 年度?2018 年度の各賞の受賞作や応募作を掲載。黒板アートのあゆみ、描き 方、参加高校一覧等も収録。 2018:9./ 175p 978-4-528-02193-8 本体 ¥3,600+税

朝日新聞 2018/10/20



制服ぬすまれた(flowers コミックス)

衿沢 世衣子 著

小学館

日常に潜むミステリーを描く珠玉の短編集「うちのクラスの女子がヤバい」で話題を呼んだ、衿沢世衣子のよみきり集が登場!月刊フラワーズの名手が描く、日常に潜むミステリーを集めた5編。

2018:10./ 192p 978-4-09-167087-8 本体 ¥591+税

朝日新聞 2018/10/20



本音化するヨーロッパ~裏切られた統合の理想~(幻冬舎新書 み-6-1)

三好 範英 著

幻冬舎

反難民、反既成政党、反 EU が常態化し、ロシアの揺さぶりにイラ立つ"普通の人々"。ヨーロッパの「本音化」現象が、EU の協調を崩し、世界の衝突の震源地となる!9年半のベルリン特派員経験を持つ著者による緊迫のルポ。

2018:9./ 254p 978-4-344-98519-3 本体 ¥800+税

朝日新聞 2018/10/20、読売新聞 2018/10/28



撰銭とビター文の戦国史(中世から近世へ)

高木 久史 著

平凡社

中世から近世への移行期にあたる、戦国時代そして信長・秀吉・家康の時代に、銭をめぐってなにが起きていたのか。銭が英雄たちをどう振り回したのか。カネという社会通念を軸に、戦国・江戸期の実態に迫る。

2018:8./ 222p 978-4-582-47740-5 本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2018/10/20、日本経済新聞 2018/10/27



横田喜三郎~1896-1993~

片桐 庸夫 著

藤原書店

天皇制への態度の変化と、極東国際軍事裁判への評価をめぐって、国際法学者・横田喜三郎に浴びせられた批判は、果たして正当なものだったのか。 戦前から戦後に至る横田の発言を跡づけ、その根底に貫かれた思想を炙り出す。

2018:8./ 264p 978-4-86578-186-1 本体 ¥3,200+税

朝日新聞 2018/10/20、毎日新聞 2018/10/28



あしたの孵化~辻聡之歌集~(かりん叢書 第 335 篇)

辻 聡之 著

短歌研究社

誰ですかと問われる声で目覚めればしゅわしゅわという加湿器の音 新幹線に置いていくよと叱られて泣いている子を過ぎる富士山 囁くという字に口よりも耳多くありて呼吸をひそやかにする 第1歌集。

2018:8./ 161p 978-4-86272-588-2 本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2018/10/21



供述によるとペレイラは.....(白水 U ブックス)

アントニオ・タブッキ 著

白水社

ファシズムの影が忍びよるポルトガル。リスボンの小新聞社の中年文芸主任が、ひと 組みの若い男女との出会いによって思いもかけぬ運命の変転に見舞われる。1996 年の再刊。 2000:8./ 193p 978-4-560-07134-2 本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2018/10/27



火宅の人<上巻> 改版(新潮文庫)

檀 一雄 著

新潮社

朝日新聞 2018/10/27

2003:3./ 478p 978-4-10-106403-1 本体 ¥710+税



火宅の人<下巻> 改版(新潮文庫)

檀 一雄 著

新潮社

朝日新聞 2018/10/27

2003:3./ 476p 978-4-10-106404-8 本体 ¥710+税

No Image

ポルトガルの海~フェルナンド・ペソア詩選~ 増補版(ポルトガル文学叢書)

フェルナンド・ペソア 著

彩流社

タブッキの「インド夜想曲」、ヴェンダースの映画「リスボン物語」で紹介され、ドゥルーズ、パスなど多くの知識人の高い評価を集めるポルトガルの「知性派の抒情詩人」の詩選集。

1997:1./ 244p 978-4-88202-435-4 本体 ¥2,200+税



死を生きた人びと~訪問診療医と355人の患者~

小堀 ?一郎 著

みすず書房

最後の日々をどう生き、いかに終えるか-。これまでに 355 人の看取りに関わった訪問診療医が語る、患者たちのさまざまな死の記録。日本の終末医療が在宅診療・在宅看取りへと舵を切りつつある今、必読の書。

2018:5./ 203p 978-4-622-08690-1 本体 ¥2,400+税

朝日新聞 2018/10/27



農家女性の戦後史~日本農業新聞「女の階段」の五十年~

姉歯 曉 著

こぶし書房

農家の女性は解放されたか。1967 年に登場した『日本農業新聞』の女性投稿欄「女の階段」。大きく変化していく農村の風景と家族のありさまが記録された貴重な手記を軸に、農家女性の思いとその背景となった時代を読み解く。

2018:8./ 295p 978-4-87559-341-6 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2018/10/27



ぼくの兄の場合(エクス・リブリス)

ウーヴェ・ティム 著

白水社

1942 年、ナチ・ドイツの武装親衛隊に入隊し、翌年、19 歳の若さで戦死した兄。16 歳年下の弟である著者が、残された日記や手紙から兄の人生を再構成しつつ、「戦争の記憶」とは何かを問いかける。

2018:7./ 191p 978-4-560-09056-5 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2018/10/27



死に山~世界一不気味な遭難事故《ディアトロフ峠事件》の真相~

ドニー・アイカー、安原 和見 著

河出書房新社

学生登山家 9 名が凄惨な死に様で発見された、旧ソ連・ウラル山脈で起きた遭難事件「ディアトロフ峠事件」。原因は雪崩か吹雪か、あるいは衝撃波か? アメリカ人ドキュメンタリー映画作家が、未解決事件の全貌と真相に迫る。

2018:8./ 351p 978-4-309-20744-5 本体 ¥2,350+税

朝日新聞 2018/10/27



信長の原理

垣根 涼介 著

KADOKAWA

蟻を用いた試みにより、信長は「ある原理」を確信し、秘かに危惧する。やがて案の 定、織田家を裏切る者が続出し始め...。信長の内面と「本能寺の変」の真実を抉り出 す。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。 2018:8./ 588p 978-4-04-102838-4 本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2018/10/27



あなた

大城 立裕 著

新潮社

あなたを見守り、そして見送るなかで、ともに過した夫婦の時間は、行きつ戻りつしながら、私の胸にさらに深く刻まれた…。沖縄に生きる日々を綴る小説集。『新潮』掲載を単行本化。

2018:8./ 235p 978-4-10-374007-0 本体 ¥1,750+税



家(チベ)の歴史を書く

朴 沙羅 著 筑摩書房

「私の家族はいつどのように、どうして済州島から大阪へとやってきたのか。その後どうやって生きたのか」 気鋭の社会学者による、家族への親愛と歴史への洞察に満ちた、自身の家(チベ)の記録。

2018:9./ 317p 978-4-480-81848-5 本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2018/10/27



旅する画家藤田嗣治(とんぼの本)

林 洋子 著

新潮社

パリ、NY、中南米、東アジア、そして日本-。時代に先駆け、世界を舞台に活躍した画家・藤田嗣治。旅の足跡をたどり、その体験が幅広い画風にどのような影響を及ぼしたのか、10の土地と時代を切り口に解き明かす。

2018:9./ 142p 978-4-10-602285-2 本体 ¥2,100+税

朝日新聞 2018/10/27



君は玉音放送を聞いたか~ラジオと戦争~

秋山 久 著

旬報社

満州事変、日中戦争、太平洋戦争と相次いで起こった戦争を、ラジオがどのように伝えたかを検証する。長年抱いていた疑問を綴った「「玉音放送」録音原盤のナゾ」などの番外や、コラムも収録。

2018:8./ 272p 978-4-8451-1553-2 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2018/10/27



操られる民主主義~デジタル・テクノロジーはいかにして社会を破壊するか~

ジェイミー・バートレット、秋山 勝著

草思社

SNS、ビッグデータ…。デジタル・テクノロジーがもたらす変化が、人間そのものを変えつつある。テクノロジーが拓く新たな社会状況が直面せざるをえない問題を、データ・テクノロジーの専門家が詳細に分析し処方箋を示す。

2018:9./ 247p 978-4-7942-2352-4 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2018/10/27



絵でみる江戸の町とくらし図鑑<商店と養生編>(時代小説のお供にでか文字版)

善養寺 ススム、江戸人文研究会 編

善養寺 ススム 著

廣済堂出版

江戸時代の町を描いた「?町照覧絵巻」を用いて、賑やかな町の様子と、通りを行く 人々を紹介。商店編では主な商店や長屋を俯瞰図を使って案内し、養生編では江 戸の健康維持のコツや、健康食の秘訣を解説する。 2018:9./ 141p 978-4-331-52182-3 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2018/10/27



方丈記(光文社古典新訳文庫 KA カ 3-1)

鴨 長明 著

光文社

災厄の数々、生のはかなさ…。人間と、人間が暮らす建物を一つの軸として綴られた、日本中世を代表する随筆の新訳。原典、和歌 10 首、訳者のエッセイも収録する。

2018:9./ 152p

978-4-334-75386-3



スレイヤーズ<16> アテッサの邂逅(富士見ファンタジア文庫 か-1-1-16)

神坂 一著

KADOKAWA

降魔戦争の再来を食い止め、疲れを癒そうと里帰りを決めたリナとガウリイ。その道中、アテッサの街で野盗騒ぎに出くわし護衛を引き受けるが、その騒動は恐るべき危険を孕んでいた!『ドラゴンマガジン』掲載を加筆し文庫化。

2018:10./ 286p 978-4-04-072905-3 本体 ¥600+税

朝日新聞 2018/10/27

フィリップ・ウィルキンソン、関谷 冬華 著



まぼろしの奇想建築~天才が夢みた不可能な挑戦~(NATIONAL GEOGRAPH-IC)

日経ナショナルジオグラフィック社 2 階建てのゾウ建築、球形のニュートン記念堂、高さ 1.6 キロの高層ビル...。中世から 20 世紀に至るまで、構想されながらも「幻」と消えた建築を紹介。建築家や芸術家、 思想家が夢に描いた、壮大で妄想に満ちた挑戦をたどる。 2018:10./ 256p 978-4-86313-418-8 本体 ¥2,700+税

朝日新聞 2018/10/27



フェルメール

植本 一子 著 ブルーシープ

現存する 35 作品、すべてのフェルメールに会いに行く-。写真家が 7 カ国 14 都市、17 の美術館を巡り、絵画と街、そこに集う人々をカメラとペンで記録した「全点踏破」の旅を体験する、新しい美術書。

2018:10./ 278p 978-4-904292-83-9 本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2018/10/27



世界不平等レポート~世界不平等研究所~<2018>

ファクンド・アルヴァレド、ルカ・シャンセル、トマ・ピケティ、エマニュエル・サエズ、ガブ リエル・ズックマン 編

みすず書房

全世界の研究ネットワークを駆使して、不平等の最新動向を隔年で報告。世界の所得と資産の状況を網羅的に分析し、経済的不平等に関する世界的で民主的な議論を確かな情報に基づくものにする。

2018:8./ 296 p. 978-4-622-08715-1 本体 ¥7,500+税

朝日新聞 2018/10/27、毎日新聞 2018/10/28



ささら水~川島葵句集~(椋叢書 27)

川島 葵 著

ふらんす堂

初夢の肩から上を見なくては 花園の傘がにはかに売れてゆく 焼芋を分け合ふ顔の 近すぎる ミュージカル涼しき星を揚げにけり 初天神猫にご飯をあげてから 句集。

2018:9./ 170p 978-4-7814-1097-5 本体 ¥2,400+税

朝日新聞 2018/10/28



七〇歳年下の君たちへ~こころが挫けそうになった日に~

五木 寛之 著

新潮社

才能の質量は人によって違いますか? 何を「生きる目的」にしていますか? エリート予備軍・灘高生達に、生きていく上でのピンチをいかに克服するか、丁寧に示した豊潤な授業の記録。母校早稲田大学での学生との対話も収録。

2018:7./ 190p 978-4-10-301725-7 本体 ¥1,350+税

東京・中日新聞 2018/10/07



太平洋戦争日本語諜報戦~言語官の活躍と試練~(ちくま新書 1347)

武田 珂代子 著

筑摩書房

太平洋戦争の対日諜報戦から終戦後まで活躍した、連合国軍の言語官たち。彼らは どのように動員、訓練されたのか。各国の言語官養成の実際、戦地での活躍、二世た ちの葛藤…。貴重な記録から、日本語諜報の実像に迫る。 2018:8./ 231p 978-4-480-07162-0 本体 ¥800+税

東京・中日新聞 2018/10/07



私が誰かわかりますか

谷川 直子 著朝日新聞出版

「世間体」と「本音」の間で揺れながら、介護を通して女たちは「老いと死の現実」を教えられる-。文藝賞受賞の実力派作家が、自らの体験に基づいて介護と看取りを描いた小説。

2018:8./ 228p 978-4-02-251560-5 本体 ¥1,500+税

東京・中日新聞 2018/10/07



影ぞ恋しき

葉室 麟 著文藝春秋

京の郊外で暮らす雨宮蔵人のもとに、冬木清四郎という吉良家の家人が訪れた。清四郎の主人を思う心に打たれた蔵人たちは…。「いのちなりけり」「花や散るらん」に続く三部作最終巻。『北海道新聞』ほか連載を単行本化。

2018:9./ 580p 978-4-16-390895-3 本体 ¥1,950+税

東京・中日新聞 2018/10/07



昭和の怪物七つの謎(講談社現代新書 2484)

保阪 正康 著

講談社

東條英機、石原莞爾、犬養毅、渡辺和子、瀬島龍三…。昭和史研究の第一人者が、 これまでに取材した「昭和の怪物」たち本人、側近、家族らの証言から、「歴史の闇」 にあらためて光をあてる。『サンデー毎日』連載を新書化。 2018:7./ 277p 978-4-06-512339-3 本体 ¥880+税

東京・中日新聞 2018/10/07、毎日新聞 2018/10/14



ヒトラーとドラッグ~第三帝国における薬物依存~

ノーマン・オーラー、須藤 正美 著

白水社

ヒトラーは主治医への依存を深め、不調のたびに投薬や注射を求めた。一方、前線 兵士は薬物によって「猛獣と化す」ことが目標とされた...。ヒトラーと第三帝国が薬物 に深く依存していたことを暴いた歴史ノンフィクション。 2018:9./ 310p,66p 978-4-560-09651-2 本体 ¥3,800+税

東京・中日新聞 2018/10/07、毎日新聞 2018/10/14、日本経済新聞 2018/10/20



岡田啓介~開戦に抗し、終戦を実現させた海軍大将のリアリズム~

山田 邦紀 著

現代書館

バルチック艦隊と戦い、二・二六事件を首相として生き抜いた、福井県出身の軍人・ 政治家、岡田啓介。史上空前の権限を一手に集中した東条英機を倒すべく奔走した 男の生涯を描く。

2018:7./ 325p 978-4-7684-5836-5 本体 ¥2,400+税

東京•中日新聞 2018/10/14



K-POP~新感覚のメディア~(岩波新書 新赤版 1730)

金成?著

岩波書店

東方神起、BTS(防弾少年団)、TWICE、EXO...。日本のみならず、世界をも魅了する K-POP の魅力とは何なのか。グローバルなトレンドとポップな欲望が交錯するソーシャルメディア時代の音楽空間を解き明かす。

2018:7./ 14p,219p 978-4-00-431730-2 本体 ¥840+税

東京・中日新聞 2018/10/14



看取りの人生~後藤新平の「自治三訣」を生きて~

内山 章子 著

藤原書店

政治家、作家の父・鶴見祐輔、後藤新平の長女である母・愛子、社会学者の姉・和子、哲学者の兄・俊輔…。リベラルな家の「黒子」として育った著者が、父や母、姉の「看取り」と、90年の半生を綴る。

2018:7./ 233p 978-4-86578-181-6 本体 ¥1,800+税

東京・中日新聞 2018/10/14



抱く女(新潮文庫 き-21-8)

桐野 夏生 著

新潮社

1972 年、東京、吉祥寺。ジャズ喫茶でアルバイトをする大学生の直子は、傷つけられ、社会へ憤りながら、同時に新左翼とウーマンリブの現状にも疑問を抱いていた。 閉塞感の中、ドラマー志望の男と出会い...。

2018:9./ 362p 978-4-10-130638-4 本体 ¥590+税

東京•中日新聞 2018/10/14



沖縄問題~リアリズムの視点から~(中公新書 2418)

高良 倉吉 著

中央公論新社

保守と革新の単純化した構図でとらえられることの多い沖縄問題をどう考えればよいのか。近代以降の歴史を踏まえ、特に沖縄県の行政に注目し、経済振興と米軍基地問題という2大課題への取り組みを追う。

2017:1./ 5p,231p 978-4-12-102418-3 本体 ¥820+税

東京・中日新聞 2018/10/21



江戸東京の明治維新(岩波新書 新赤版 1734)

横山 百合子 著

岩波書店

維新の激動に飲み込まれた江戸。諸大名の一斉帰国で人口は一挙に激減。横行する浮浪士のテロ、荒廃する屋敷地、流動化する身分。秩序が解体してゆく東京で、時代の変化に食らいつき、必死にもがきつづけた人びとの明治維新史。

2018:8./ 11p,197p 978-4-00-431734-0 本体 ¥780+税

東京・中日新聞 2018/10/21



地球星人

村田 沙耶香 著

新潮社

地球星人なんて、ポハピピンポボピア星人が作り上げた幻想なんじゃないかな-。なにがあってもいきのびること。恋人と誓った魔法少女は、世界=人間工場と対峙する! 『新潮』掲載を単行本化。

978-4-10-310073-7 本体 ¥1,600+税

2018:8./ 246p

東京•中日新聞 2018/10/21



松竹と東宝~興行をビジネスにした男たち~(光文社新書 960)

中川 右介 著

光文社

劇場の売店の子である「松竹」創業者と、裕福な商家に生まれた慶應義塾卒の「宝 塚」生みの親。対照的な両者が数十年のあいだ、しのぎを削ったことが、現在の繁栄 につながり...。膨大な資料を読み解いて描いた新たな演劇史。

2018:8./ 392p 978-4-334-04366-7 本体 ¥900+税



東京・中日新聞 2018/10/21



始まりの知~ファノンの臨床~(サピエンティア 53)

冨山 一郎 著

法政大学出版局

不審者、異常者、テロリストに見える-。 問答無用の断言により、無力感とともに言葉が 停止する先には、暴力が待機している。そんな状況を「尋問空間」とよび、沖縄の問 題も含めて、精神科医ファノンの臨床を手がかりに論じる。

2018:7./5p,306p 978-4-588-60353-2 本体 ¥3,000+税

東京・中日新聞 2018/10/28



グッパイ・クリストファー・ロビン~『クマのプーさん』の知られざる真実~

アン・スウェイト、山内 玲子、田中 美保子 著 国書刊行会

アン・スウェイトによる A・A・ミルンの伝記から、「クマのプーさん」など 4 冊の子どもの 本が書かれた背景と、その成功がミルンと息子のクリストファーとに与えた影響に関す る部分を抜粋。人間の幸福の真実を映し出す。

2018:8./ 331p 978-4-336-06260-4 本体 ¥2,700+税

東京・中日新聞 2018/10/28



月岡芳年伝~幕末明治のはざまに~

菅原 真弓 著

中央公論美術出版

滅びゆく浮世絵の歴史の掉尾に位置し、今なお鮮烈な印象を与え続ける月岡芳年。 報道、伝記・回顧録などの資料を博捜し、作品主題と構図に緻密な分析を加えること で、血肉を備えたひとりの浮世絵師の人物像を浮かび上がらせる。

2018:8./ 422p 図版 24p 978-4-8055-0854-1 本体 ¥3,600+税

東京・中日新聞 2018/10/28、毎日新聞 2018/10/28

No Image

伝奇集(岩波文庫 赤 792-1)

ホルヘ・ルイス・ボルヘス、鼓直 著

岩波書店

われわれ人間の生とは、他者の夢見ている幻に過ぎないのではないかと疑う「円環の 廃墟」、宇宙の隠喩である図書館の物語「バベルの図書館」など、東西古今の神話や 哲学を題材として精緻に織りなされた魅惑の短篇集。

1993:11./ 282p 978-4-00-327921-2 本体 ¥780+税

読売新聞 2018/10/07

No Image

累<1>(イブニングKC)

松浦だるま 著 講談社

読売新聞 2018/10/07

2013:10./ 189p 978-4-06-352485-7 本体 ¥571+税



世界の美しい本屋さん~いつか行きたい世界中の名店ガイド~

清水 玲奈 著

エクスナレッジ

南米のパリに花開いた豪華な本の劇場、ロンドンで最も愛される美しい書店...。「世界の夢の本屋さん」から選りすぐった名店を収録したガイドブック。写真解説や MAPなどのアクセス情報も満載。

2015:4./ 125p 978-4-7678-1973-0 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2018/10/07



探検!東京国立博物館~藤森照信×山口晃~

藤森 照信、山口 晃 著

淡交社

わが国最古の博物館として質・量ともに日本一を誇る、トーハクこと東京国立博物館。 建築家・藤森照信と平成の絵師・山口晃を案内役に、その魅力を徹底解剖する。『な ごみ』2014年10月号の大特集をもとに単行本化。 2015:11./ 144p 978-4-473-04049-7 本体 ¥1,700+税

読売新聞 2018/10/07



太陽がいっぱい(河出文庫 ハ2-13)

P.ハイスミス、佐宗 鈴夫 著

河出書房新社

息子ディッキーを連れ戻してほしいという富豪の頼みを受け、トムはイタリアへ。女友 達マージとともに自由な生活をおくっているディッキーに心惹かれたトムは、そのすべ てを手に入れることを求め、殺人を犯す...。 2016:5./ 421p 978-4-309-46427-5 本体 ¥820+税

読売新聞 2018/10/07



方言でたのしむイソップ物語

イソップ、安野 光雅 著

平凡社

「イソップ物語」をこよなく愛する画家が、各地の方言を大切に残したいとの願いを込め全 70 話を方言に翻案し、絵を描き下ろした一冊。方言を大切にする試み。『こころ』掲載に加筆・改稿。

2018:7./ 117p 978-4-582-83782-7 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2018/10/07



戦国大名と分国法(岩波新書 新赤版 1729)

清水 克行 著

岩波書店

厄介な隣国、勝手な家臣、喧嘩に盗みに所有地争い…。戦国乱世の大名たちは、さまざまな歴史的課題にどのような対策を講じていたのか。大名たちが定めた「分国法」を読み解き、彼らの実像に迫る。

2018:7./ 12p,215p 978-4-00-431729-6 本体 ¥820+税

読売新聞 2018/10/07



核は暴走する~アメリカ核開発と安全性をめぐる闘い~<下>

エリック・シュローサー、布施 由紀子 著

河出書房新社

冷戦期に日常的なミスにより起きた、大陸間弾道ミサイル「タイタンII」発射施設の事故。アメリカの核兵器にまつわる事故の実例を明らかにし、核のリスクを生々しく描くとともに、アメリカの核兵器の歴史を丹念に振り返る。

978-4-309-25386-2 本体 ¥3,900+税

2018:7./362p



核は暴走する~アメリカ核開発と安全性をめぐる闘い~<上>

エリック・シュローサー、布施 由紀子 著

河出書房新社

冷戦期に日常的なミスにより起きた、大陸間弾道ミサイル「タイタンII」発射施設の事故。アメリカの核兵器にまつわる事故の実例を明らかにし、核のリスクを生々しく描くとともに、アメリカの核兵器の歴史を丹念に振り返る。

2018:7./ 356p 978-4-309-25385-5 本体 ¥3,900+税

読売新聞 2018/10/07



地元の力を生かす「ご当地企業」~ビッグデータで読み解く 47 都道府県~(中公新書ラクレ 628)

帝国データバンク、中村 宏之 著

中央公論新社

全国に 83 事業所を展開する帝国データバンク。その収集データを読み解くと、個性豊かな県民性や経済特性、「ご当地企業」の素顔と活力の源が見えてくる! 10 の指標を使って、47 都道府県の特徴を大解剖する。

2018:7./ 315p 978-4-12-150628-3 本体 ¥900+税

読売新聞 2018/10/07



人間豹(江戸川乱歩文庫)

江戸川 乱歩 著

春陽堂書店

神谷芳雄の恋人・弘子は、獣のような男・恩田にさらわれ、惨殺される。警察の捜査もむなしく、恩田は姿をくらました。一年後、神谷の新たな恋人・江川蘭子の前に恩田が現れる。美貌の歌姫にまたしても魔の手が迫る...。

2018:7./ 348p 978-4-394-30160-8 本体 ¥950+税

読売新聞 2018/10/07



一八世紀近代の臨界~ディドロとモーツァルト~

鷲見 洋一著

ぷねうま舎

著者が、半世紀をかけた「共時性の研究」、「いま・ここの探求」を、そして、音楽と倫理の先端で触れる「世界図絵」のヴィジョンを集成。モーツァルトとディドロ、一八世紀に交叉する二人の天才の軌跡をたどる。

2018:7./ 392p 978-4-906791-94-1 本体 ¥4,300+税

読売新聞 2018/10/07



情報爆発~初期近代ヨーロッパの情報管理術~

アン・ブレア、住本 規子、廣田 篤彦、正岡 和恵 著中央公論新社

書籍が氾濫しているのに、それらを修得するための人間の記憶力や時間はあまりにも限られている。文書情報を管理する革新的な方法は、どのように生み出されたのか。 増え続ける情報との格闘をめぐる壮大な文化史・思想史。

2018:8./ 446p 978-4-12-005110-4 本体 ¥5,000+税

読売新聞 2018/10/07



世界の美しい博物館

パイインターナショナル 著 パイインターナショナル

ヨーロッパ地中海文明博物館、ポルシェ博物館、国立馬車博物館、生物多様性博物館…。人類史から生命の神秘、科学の進歩まで、好奇心をくすぐる博物館 106 館を写真で紹介する。

978-4-7562-5086-5 本体 ¥1,800+税

2018:7./ 205p



親鸞への接近

四方田 犬彦 著

工作舎

自力の修行を拒み、非僧非俗で平然と妻帯をした親鸞。その口伝集である「歎異抄」 や著作「教行信証」を独自の視点で読み解き、三木清・三國連太郎・吉本隆明を通し て、親鸞思想の現代的意味を考察する。 2018:8./ 525p 978-4-87502-495-8 本体 ¥3,000+税

読売新聞 2018/10/07



ある男

平野 啓一郎 著

文藝春秋

里枝には、2歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が…。『文學界』掲載を単行本化。

2018:9./ 354p 978-4-16-390902-8 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2018/10/07



中山七転八倒(幻冬舎文庫 な-31-3)

中山 七里 著

幻冬舎

締め切り直前にトリックが使えないことが判明。栄養ドリンクを一気飲みし徹夜で考え抜く...。どんでん返しの帝王がプロットの立て方や原稿の進め方、編集者とのやりとりを赤裸々に告白する。『ピクシブ文芸』掲載を文庫化。

2018:8./ 612p 978-4-344-42768-6 本体 ¥920+税

読売新聞 2018/10/07



ブルーロータス~巡査長真行寺弘道~(中公文庫 え 21-2)

榎本 憲男 著

中央公論新社

53 歳の捜査一課のヒラ刑事・真行寺は、荒川沿いを流していると捜査員たちに出くわし、河川敷で死体が発見されたと聞く。やがてこの死体はインド人男性のものであると判明。真行寺はその死に事件性を感じ...。シリーズ第2弾。

2018:9./ 428p 978-4-12-206634-2 本体 ¥800+税

読売新聞 2018/10/07



食道楽(中公文庫 む 27-2)

村井 弦斎 著中央公論新社

大食漢の文学士・大原と、料理に凄腕を発揮するお登和のロマンスを軸に、和洋中、四季折々、膨大な数の各種料理を蘊蓄たっぷりに紹介する。実用性を貴び家庭料理の近代化を説く、明治期のグルメ小説の現代語抄訳。

2018:9./ 400p 978-4-12-206641-0 本体 ¥900+税

読売新聞 2018/10/07



政権奪取論~強い野党の作り方~(朝日新書 686)

橋下 徹 著

朝日新聞出版

野党が強くなければ、政権与党はやりたい放題で国民の声は政治に届かず、日本は良くならない。「ふわっとした民意」をどうつかむか?「風」だのみでない強い組織をどう作るか?8年間の政治経験をつぎ込んで語る。

2018:11./ 302p 978-4-02-273787-8 本体 ¥890+税



タンゴと日本人(集英社新書 0943)

生明 俊雄 著

集英社

アルゼンチンの港町で産声を上げたタンゴは、どのようにして日本に上陸し、なぜ熱く 支持されたのか。タンゴ出生の秘密と日本との不思議な縁をひもときながら、今なお 日本人の魂に刻まれているというタンゴの魅力を論じる。

2018:8./ 235p 978-4-08-721043-9 本体 ¥840+税

読売新聞 2018/10/07、産経新聞 2018/10/21



底ぬけビンボー暮らし(講談社文芸文庫 ま I3)

松下 竜一著

講談社

売れない作家の台所事情は厳しいが、夕方の妻との散歩、家族や友人との楽しい会 話、四季の移ろいや風物を愛でる日々は、何物にも代え難く...。心にしみいる随筆 2018:9./ 313p

978-4-06-512928-9 本体 ¥1,700+税

読売新聞 2018/10/07、日本経済新聞 2018/10/27



戦争体験と経営者(岩波新書 新赤版 1728)

立石 泰則 著

岩波書店

成功を収めた経営者たちの「戦争体験」は、その後の生き方や企業観、経営手法に どのような影響を及ぼしたのか。企業取材歴 40 年のノンフィクション作家が、取材の 過程で出会った経営者たちの肉声をふり返りながら考える。

2018:7./ 8p,179p 978-4-00-431728-9 本体 ¥780+税

読売新聞 2018/10/07、毎日新聞 2018/10/07



ニッポン離島の祭り

箭内 博行 著 グラフィック社

離島の貴重な民俗文化は、祭りや年中行事という形で今に受け継がれている。兵庫 県の沼島八幡神社春祭り、沖縄県の糸満ハーレーなど、ニッポンの貴重な宝である 「離島の祭り」をオールカラーの写真で紹介。

2018:9./ 183p 978-4-7661-3175-8 本体 ¥2,200+税

読売新聞 2018/10/07、毎日新聞 2018/10/07



預言者

カリール・ジブラン 著

成甲書房

愛、結婚、子ども、施し、食べることと飲むこと、働くということ、喜びと悲しみ...。26 の 普遍的な人間の営為に答えを出す自己啓発の金字塔。人間の「正しいあり方」を教 える書。

2009:8./ 156p 978-4-88086-251-4 本体 ¥1.400+税

読売新聞 2018/10/14



新編銀河鉄道の夜 改版(新潮文庫 み-2-5)

宮沢 賢治 著

新潮社

貧しく孤独な少年ジョバンニが、親友カムパネルラと銀河鉄道に乗って美しく哀しい 夜空の旅をする表題作や、「よだかの星」「オツベルと象」など、全 14 編を収録。 賢治 童話の豊饒な醍醐味をあますところなく披露する。

978-4-10-109205-8 本体 ¥430+税

2012:4./ 423p



おひとりさまの老後(文春文庫 う28-1)

上野 千鶴子 著 文藝春秋 読売新聞 2018/10/14 2011:12./ 285p 978-4-16-780162-5 本体 ¥620+税



「聴く」ことのカ~臨床哲学試論~(ちくま学芸文庫 ワ 5-5)

鷲田 清一 著 筑摩書房

「聴く」という、目の前にいる相手をそのまま受け止めるいとなみが、他者と自分理解の場を劈く-。ことばを黙って迎え入れる受け身の行為がもたらす哲学的可能性を模索する。「臨床哲学」という新しい地平を生み出した名著。

2015:4./ 277p 978-4-480-09668-5 本体 ¥1,000+税

読売新聞 2018/10/14



八木重吉詩画集

八木 重吉、井上 ゆかり 著 童話屋

夜になると からだも心もしずまってくる 花のようなものをみつめて無造作にすわっている(「夜」より) 八木重吉の詩と、その心を見事に描きあげた井上ゆかりの絵を併せて収録する。

2016:3./ 109p 978-4-88747-127-6 本体 ¥1,500+税

読売新聞 2018/10/14



AI に負けない「教育」(認知科学のフロンティア)

渡部 信一著大修館書店

「人工知能に負けない能力」とは。そのような能力を身につけるための「教育」とは。人工知能の研究開発における最新の知見をわかりやすく紹介するとともに、これからの教育のあり方について検討する。

2018:7./ 4p,200p 978-4-469-21370-6 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2018/10/14



上田薫画集

上田 薫 著 求龍堂

なま玉子、スプーン、ジャム、流れ、空…。写真表現などをもちいてキラメキの瞬間を描く、独自のリアリズム絵画を確立した上田薫の画集。油彩を中心に、水彩、リトグラフを掲載。2017年3月開催の講演会の模様も収録。

2018:8./ 158p 978-4-7630-1821-2 本体 ¥6,000+税

読売新聞 2018/10/14



たそがれてゆく子さん

伊藤 比呂美 著中央公論新社

60 代、親のいなくなった日本は空虚で、娘たちのいなくなった家からは若さが消えた。夫は死に、孤独にひたひたと向かっていく毎日は...。老いゆく詩人が「今」を綴る。『婦人公論』ほか掲載に加筆し単行本化。

2018:8./ 236p 978-4-12-005111-1 本体 ¥1,400+税



カレーライス!!大盛り~アンソロジー~(ちくま文庫 す 25-1)

杉田 淳子 編

筑摩書房

老若男女に愛される"日本人のソウルフード"カレーライス。こだわりの食べ方・調理法からカレーにまつわる思い出、忘れられない味まで、作家・著名人が綴ったカレーエッセイを 44 篇収録する。

2018:9./ 317p 978-4-480-43542-2 本体 ¥800+税

読売新聞 2018/10/14



オランダ公共図書館の挑戦~サービスを有料にするのはなぜか?~

吉田 右子 著

新評論

オランダの公共図書館がサービスを有料化している理由は何か。現地での調査をも とに、オランダ公共図書館の制度やさまざまな役割、メディアの変化で進化してきたこ と、多目的な文化施設となっていることなどを紹介する。

2018:9./ 13p,252p 978-4-7948-1102-8 本体 ¥2,500+税

読売新聞 2018/10/14



映画がつなぐ中国と日本~日中映画人インタビュー~

劉 文兵 著

東方書店

100 年にのぼる日中映画交流の歴史をチェン・カイコーら数世代にわたる中国の映画人や日本の関係者へのインタビューを通じて明らかにする。また日中合作映画製作の最前線に注目して、新たな日中文化交流の可能性を探る。

2018:7./ 371p 978-4-497-21815-5 本体 ¥2,000+税

読売新聞 2018/10/14



代理人だからこそ書ける日米プロ野球の契約の謎(ポプラ新書 157)

長谷川 嘉宣 著

ポプラ社

和田毅、田口壮、城島健司、カブレラ、マイコラス…。日本人メジャー選手&外国人助っ人を担当する現役代理人が、知られざる契約&年俸交渉の裏側を詳述。メジャーで活躍する選手の条件も解説する。

2018:9./ 285p 978-4-591-16010-7 本体 ¥800+税

読売新聞 2018/10/14



呪文(河出文庫 ほ 5-2)

星野 智幸 著河出書房新社

さびれゆく松保商店街に現れた若きカリスマ図領は、商店街の改革に着手。廃業店舗には若い働き手を斡旋し、独自の融資制度を立ち上げ、自警団「未来系」を組織する。人々は、希望あふれる彼の言葉に熱狂するが...。

2018:9./ 248p 978-4-309-41632-8 本体 ¥640+税

読売新聞 2018/10/14



マリリン・モンロー・ノー・リターン(P+D BOOKS)

野坂 昭如 著

小学館

次々に湧き上がるおぞましき妄想を、世紀の美女・モンローに仮託して謳い上げた表題作ほか、「死の器」「ああ軟派全落連」「乱離骨灰鬼胎草」など全 5 編を収録。狂気を孕む多彩な野坂ワールド満載のオリジナル編集短編集。

978-4-09-352348-6 本体 ¥550+税

2018:10./ 237p



ドーダの人、西郷隆盛(中公文庫 か 56-14)

鹿島 茂 著

中央公論新社

歴史を動かすのは、正義でも理念でもない。人間の自己愛<ドーダ>なのだ! 水戸学から、高杉晋作、西郷隆盛、中江兆民、頭山満まで、複雑怪奇な日本近代史の疑問を解き明かす。片山杜秀との特別対談も収録。

2018:9./ 476p 978-4-12-206636-6 本体 ¥1,100+税

読売新聞 2018/10/14



発達障害に生まれて~自閉症児と母の17年~

松永 正訓 著

中央公論新社

幼児教育のプロとして活躍する母が自閉症児を授かり、世間一般の「理想の子育て」 から自由になっていく、17年に及ぶ人生の足跡を描いたルポルタージュ。私たちの 日常を縛る「普通」という価値基準の意味を問い直す。 2018:9./ 254p 978-4-12-005115-9 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2018/10/14



北風~小説早稲田大学ラグビー部~(集英社文庫 ふ 33-1)

藤島 大著

集英社

福島から上京した草野点は、早稲田大学ラグビー部の一員となった。チームに息づく精神、同期とのライバル関係…。日本一を目標に掲げる伝統のクラブでの日々を描いた武骨な青春小説。『青春と読書』連載を加筆修正して文庫化。

2018:9./ 441p 978-4-08-745789-6 本体 ¥760+税

読売新聞 2018/10/14



宇沢弘文の数学

小島 寛之 著

青土社

戦後を代表する経済学者・宇沢弘文に親炙した著者が、彼の経済思想などについて 論じた本。宇沢理論を引き継いだ「小野理論」や「帰納的ゲーム理論」を紹介しなが ら、技術性に偏りすぎた数学の壁を乗り越える。 2018:9./ 216p 978-4-7917-7100-4 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2018/10/14



ふたりのトトロ~宮崎駿と『となりのトトロ』の時代~

木原 浩勝 著

講談社

木原君、この作品は楽しく作ってください-。 元スタジオジブリ制作デスクが、公開 30 年を機に初めて明かす「となりのトトロ」誕生までの 1 年間。 宮崎駿監督やスタッフの素顔と情熱に迫る感動秘話が満載。

2018:9./ 270p 978-4-06-221013-3 本体 ¥1,500+税

読売新聞 2018/10/14



フェミニスト・ファイト・クラブ~「職場の女性差別」サバイバルマニュアル~

ジェシカ・ベネット、岩田 佳代子 著

海と月社

雑用押しつけ男、「女性の上司は最悪だ」という声…。 職場での女性差別にどう対処 すればいいのか。 女性が反撃するときに必要な「巧みな戦術のすべて」を、イラスト&ユーモア満載で紹介する。

2018:8./ 319p 978-4-903212-65-4 本体 ¥1,900+税



未来のイヴ(光文社古典新訳文庫 KA ウ 9-1)

ヴィリエ・ド・リラダン 著

光文社

魅惑的な美貌と肉体を持つアリシアを運命の恋人としたエウォルド卿は、やがて彼女のあまりの軽薄さに幻滅する。そんな彼のために、発明家エジソンは、アリシアを完璧に模した肉体に高貴な魂をそなえた機械人間を生み出すが…。

2018:9./ 827p 978-4-334-75384-9 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2018/10/14



「アラブの春」とは一体何であったのか~大使のチュジニア革命回顧録~

多賀 敏行 著

臨川書店

著者が大使として経験したチュニジア革命の記録。激動の外交の現場、異国での危機状況に直面した当事者による臨場感あふれる記録。外交官生活の最初の頃に経験した英国ケンブリッジ大学での留学体験記も収録。

2018:10./ 226p 978-4-653-04369-0 本体 ¥1,900+税

読売新聞 2018/10/14



No Image

音楽を愛する友へ(新潮文庫 フ 10-1)

エトヴィン・フィッシャー 著

新潮社

読売新聞 2018/10/14

1977:3./ 137p 978-4-10-202501-7 本体 ¥311+税



ホモ・デウス~テクノロジーとサピエンスの未来~<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

生物はただのアルゴリズムであり、コンピューターが人類のすべてを把握する。生物 工学と情報工学の発達によって、資本主義や民主主義、自由主義は崩壊し…。人類 の未来を、かつてないスケールで描く。 2018:9./ 284p 978-4-309-22737-5 本体 ¥1,900+税

読売新聞 2018/10/14、毎日新聞 2018/10/14、朝日新聞 2018/10/20



ホモ・デウス~テクノロジーとサピエンスの未来~<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる-。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018:9./ 265p 978-4-309-22736-8 本体 ¥1,900+税

読売新聞 2018/10/14、毎日新聞 2018/10/14、朝日新聞 2018/10/20



文学はおいしい。

小山 鉄郎、ハルノ 宵子 著

作品社

カツ丼:吉本ばなな「キッチン」、鯖の味噌煮:森?外「雁」、ビール:田山花袋「田舎教師」…。日本の食と文学への愛を綴ったエッセイ集。カラーの料理挿絵つき。共同通信社配信の連載を改題して単行本化。

2018:9./211p 978-4-86182-719-8 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2018/10/14、毎日新聞 2018/10/28



ひろしま

石内 都 著

集英社

花柄のワンピース、水玉のブラウス、テーラーメイドの背広、壊れたメガネ?。写真家・ 石内都が、広島平和記念資料館に収蔵されている被爆遺品を撮影。美しいから辛 い、可憐だからむごい。広島の心模様が残る写真集。 2008:4./ 78p 978-4-08-780482-9 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2018/10/21



細川忠利~ポスト戦国世代の国づくり~(歴史文化ライブラリー 471)

稲葉 継陽 著

吉川弘文館

細川家熊本藩主の初代、細川忠利は、戦国動乱から「天下泰平」へ転換する変換期にいかに育ち、統治者として自己形成していったのか。忠利による国づくりを通して、「ポスト戦国世代」の歴史的使命を探り、時代を読み解く。

2018:8./ 6p,243p 978-4-642-05871-1 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2018/10/21



あの戦争から遠く離れて~私につながる歴史をたどる旅~(新潮文庫 き-46-0)

城戸 久枝 著

新潮社

日中の国交が断絶していた文化大革命のさなか、中国から奇跡の帰国を果たした日本人戦争孤児が私の父だった-。21歳で旧満州に飛び込んだ著者が、戦争のもたらす残酷な運命と、歴史の真実を鮮やかに描く。

2018:8./ 569p 978-4-10-121052-0 本体 ¥890+税

読売新聞 2018/10/21



変体英文字図案集

大沼 知之 著

青幻舎

戦後の印刷物、掲示、看板などに書かれたアルファベットおよび英数字の実用的な字体をはじめ、装飾・美術的な英字スタイルを 70 パターン掲載。これをもとにしたモノグラムのバリエーション約 1000 種も収録する。

2018:8./ 275p 978-4-86152-691-6 本体 ¥1,500+税

読売新聞 2018/10/21



漂流怪人・きだみのる(小学館文庫 あ 4-3)

嵐山 光三郎 著

小学館

ファーブル「昆虫記」の訳者で、戦中「モロッコ紀行」を書いたきだみのるは、生涯をかけて漂流に身をまかせた。明治・大正・昭和を生き抜いた、ハテンコウ文人の痛快評伝。平松洋子・南伸坊・松山巖の解説付き。

2018:9./ 284p 978-4-09-406558-9 本体 ¥610+税

読売新聞 2018/10/21



フランス人の性~なぜ「#MeToo」への反対が起きたのか~(光文社新書 961)

プラド夏樹 著

光文社

高齢者であってもセックスレスなどあり得ない国。子どもに 8 歳から性教育を施す国。 大統領も堂々と不倫をする国。そんな「性」に大らかな国・フランスの現在を、在仏ジャーナリストが多角的に描く。

2018:8./ 249p 978-4-334-04367-4 本体 ¥820+税

読売新聞 2018/10/21



生きづらい明治社会~不安と競争の時代~(岩波ジュニア新書 883)

松沢 裕作 著

岩波書店

景気の急激な変動、出世競争、貧困...。さまざまな困難と向き合いながら、明治時代の人々はどう生きたのか? 不安と競争をキーワードに、明治という社会を読み解く。

2018:9./ 14p,162p 978-4-00-500883-4 本体 ¥800+税

読売新聞 2018/10/21



人形メディア学講義

菊地 浩平 著 河出書房新社

人形が登場する映画や人形劇、リカちゃん人形、着ぐるみなど、様々な作品や事象における人形を吟味し、そのことを通じて人間についても考える。早稲田大学文学学術院で人気の講義『人形メディア学』を書籍化。

2018:9./ 334p 978-4-309-92153-2 本体 ¥2,500+税

読売新聞 2018/10/21



日本敵討ち異相(角川文庫 時-は60-1)

長谷川 伸 著

KADOKAWA

享保 9 年、茂七郎の死体が見つかった。犯人は商家の倅、与市。調べの上、処刑されたが数年後、与市の死体は換え玉で、高野山で僧として生きているといい...。 最晩年の代表作全 13 話を収録。 「日本敵討ち集成」も同時刊行。

2018:9./ 436p 978-4-04-106744-4 本体 ¥920+税

読売新聞 2018/10/21



江戸→TOKYO なりたちの教科書<3> 東京の基盤をつくった「武家屋敷物語」

岡本 哲志 著

淡交社

現代の東京を語るうえでも欠かすことのできない「江戸城下武家地の配置」に焦点を当て、時代・エリア別に武家屋敷のなりたちと変遷を詳細に追う。また、その際に起こったお家騒動などの悲喜こもごものドラマも紹介する。

2018:9./ 321p 978-4-473-04270-5 本体 ¥1,700+税

読売新聞 2018/10/21



風景論~変貌する地球と日本の記憶~

港 千尋 著

中央公論新社

なぜ私たちは見知らぬ土地を歩き、風景を訪ねるのか? 慣れ親しんだ風景が一瞬にして激変した東日本大震災を出発点に、世界のさまざまな土地をめぐりながら「経験としての風景」を考察する。『読売新聞』連載等を単行本化。

2018:9./ 349p 978-4-12-005109-8 本体 ¥2,600+税

読売新聞 2018/10/21



定年ラジオ

上柳 昌彦 著 三才ブックス

アナウンサーへと導かれし頃、その場にいた東日本大震災、退職の日そして前立腺がん…。 元ニッポン放送アナウンサー上柳昌彦が、"粋"な戦友たちと紡いだ 36 年のサラリーマン人生を綴る。

読売新聞 2018/10/21

2018:8./ 222p 978-4-86673-068-4 本体 ¥1,300+税



左目に映る星(集英社文庫 お84-1)

奥田 亜希子 著

集英社

小学生の時に出会った少年は、彼女にとって完璧な存在だった。過去を引きずったまま大人になった早季子と、あまりに純粋なアイドルオタク・宮内との恋の行方は。不器用な男女のラブストーリー。

2018:9./ 183p 978-4-08-745787-2 本体 ¥500+税

読売新聞 2018/10/21



モーツァルトのムクドリ~天才を支えたさえずり~

ライアンダ・リン・ハウプト、宇丹 貴代実 著

青土社

モーツァルトは、嫌われもののムクドリをペットとしてかわいがっていた。みずからムクドリを飼って逸話の詳細を解明しようとした著者が、想像の翼を縦横に広げ、ときに詩的、ときに哲学的な考察を展開する。

2018:9./ 286p 978-4-7917-7106-6 本体 ¥2,000+税

読売新聞 2018/10/21



ディアローグ デュラス/ゴダール全対話

マルグリット・デュラス、ジャン=リュック・ゴダール、シリル・ベジャン 編マルグリット・デュラス、ジャン=リュック・ゴダール、福島 勲 著読書人

かろうじて存在しているかも知れない映画やサルトル、キスなどをめぐる、真摯で滑稽な言葉のやりとり。作家マルグリット・デュラスと映画作家ジャン=リュック・ゴダールによる3回の対話を収録。詳細な註も付す。

2018:10./ 203p,10p 978-4-924671-34-8 本体 ¥2,800+税

読売新聞 2018/10/21



神々が宿る絶景 100~古代史・神話の舞台を旅する~ カラー版(宝島社新書 509) 宝島社

「古事記」「日本書紀」で描かれた神話・古代史にまつわる日本のパワースポット 100 カ所を厳選紹介するオールカラーの絶景ガイド。日本の歴史が誇る伝承地を訪ね歩き、神話のおもしろさや古代史のミステリーを詳細に解説。

2018:9./ 223p 978-4-8002-8815-8 本体 ¥1,100+税

読売新聞 2018/10/21



となりの脳世界

村田 沙耶香 著朝日新聞出版

小さな頃の思い出、影響を受けた本や音楽、旅先での出来事、今まで気づかなかった勘違いに、コンビニバイトのこと...。作家・村田沙耶香がデビューからの 15 年間に各紙誌で綴ったエッセイを集成。

2018:10./ 269p 978-4-02-251555-1 本体 ¥1,400+税

読売新聞 2018/10/21



ロゴスの市(徳間文庫 お 42-2)

乙川 優三郎 著

徳間書店

大学のキャンパスで出会った男女は、それぞれ翻訳家と同時通訳の道へ。男は静謐な熱情で女を見守るが、女は確かなものしか追わない。言語の海を漂う男と女の、切なく美しく狂おしい"意表をつく愛の形"とは…。

978-4-19-894400-1 本体 ¥680+税

2018:10./331p

読売新聞 2018/10/21



カミングアウト~LGBT の社員とその同僚に贈るメッセージ~

ジョン・ブラウン、松本 裕 著

英治出版

「世界で最も尊敬される CEO」にも選ばれた著者が、職業人生の中でゲイである自分を隠し続けた日々とカミングアウトの経験、多くの LGBT ビジネスパーソンへの取材から語る、職場の性的少数者と周囲の人々へのアドバイス。

2018:9./ 299p 978-4-86276-259-7 本体 ¥1,900+税

読売新聞 2018/10/21



ジャイロモノレール(幻冬舎新書 も-7-4)

森 博嗣 著

幻冬舎

ジャイロモノレールは、「力を受けた時に回転方向に 90 度ずれた位置で変位する」というジャイロ効果を姿勢制御に利用した鉄道車両。100 年前の幻の機械技術を完全復元した、世界初のジャイロモノレールの概説書。

2018:9./ 202p 978-4-344-98520-9 本体 ¥780+税

読売新聞 2018/10/21



虐殺器官 新版(ハヤカワ文庫 JA 1165)

伊藤 計劃 著

早川書房

9・11 以降、後進諸国では内戦や大規模虐殺が急激に増加していた。米軍大尉クラヴィス・シェパードは、その混乱の陰に常に存在が囁かれる謎の男を追ってチェコへと向かう...。巻末に著者と円城塔の対談も収録。

2014:8./ 428p 978-4-15-031165-0 本体 ¥720+税

読売新聞 2018/10/28



悪童(ワルガキ)~小説寅次郎の告白~

山田 洋次 著

講談社

映画「男はつらいよ」の寅さんが、「2・26 事件」の朝に帝釈天に捨てられたという衝撃の誕生秘話から、柴又を飛び出すまでの十数年を軽快に語る。『男はつらいよ 寅さん DVD マガジン』連載を改題、改稿し単行本化。

2018:9./ 183p 978-4-06-220729-4 本体 ¥1,300+税

読売新聞 2018/10/28



須賀敦子の本棚<2> 大司教に死来る

池澤 夏樹、ウィラ・キャザー、須賀 敦子 著河出書房新社

須賀敦子の没後 20 年を記念した海外文学コレクション。2 は、若き日の須賀の瑞々しい新訳による、20 世紀米作家の記念碑的名作「大司教に死来る」を収録する。池澤夏樹の巻末エッセイ、長澤唯史の解説も掲載。

2018:8./ 285p 978-4-309-61992-7 本体 ¥2,200+税

読売新聞 2018/10/28



曲線折り紙デザイン~曲線で折る7つの技法~

三谷 純 著

日本評論社

数学に裏づけされながらも、アイデアと手を動かすことがものをいう、自由で豊かな造形世界。魅力あふれる曲線折り紙を、豊富な作例を挙げながら、ステップ・バイ・ステップで解説。展開図データのダウンロードサービス付き。

2018:7./ 123p 978-4-535-78866-4 本体 ¥2,000+税

読売新聞 2018/10/28



戦慄の記録インパール

NHK スペシャル取材班 著

岩波書店

3 万人を超える死者を出した「インパール作戦」は、どのように立案・遂行されたのか。 司令官の肉声や兵士たちの証言などを通じて、その全貌に迫る。NHK スペシャルを もとに書籍化。 2018:7./ 8p,230p 978-4-00-061285-2 本体 ¥2,000+税

読売新聞 2018/10/28



世界を踊るトゥシューズ~私とバレエ~

針山 愛美 著

論創社

ボリショイへの旅立ち、激動のソ連、ヨーロッパ・バレエ武者修行、9.11 とボストンバレエ、マラーホフという天才...。「白鳥の湖」だけで 300 公演、激動の世界で踊り続ける針山愛美が、これまでの半生をふり返る。

2018:7./ 236p 978-4-8460-1734-7 本体 ¥2,000+税

読売新聞 2018/10/28



坂口安吾歴史小説コレクション<第1巻> 狂人遺書

坂口 安吾、七北 数人 編

坂口 安吾 著

春陽堂書店

坂口安吾の歴史小説を網羅的に集めたコレクション。第 1 巻は、群雄割拠の乱世に道三、信長が現れ、秀吉、家康による天下統一が成るまで、おもに戦国武将を主人公とする中短篇全 11 作品を収録する。

2018:9./ 412p 978-4-394-90338-3 本体 ¥2,600+税

読売新聞 2018/10/28



天皇はなぜ紙幣に描かれないのか~教科書が教えてくれない日本史の謎 30~

三上 喜孝 著

小学館

聖徳太子は本当に「万能の政治家」だったのか? 災害記録の数々は、何を物語っているのか? 教科書だけでは分からない歴史の真実と、その教訓を紐解く。小学館のサイト『BOOK PEOPLE』連載を加筆し書籍化。

2018:9./ 253p 978-4-09-388639-0 本体 ¥1,400+税

読売新聞 2018/10/28



わが心のジェニファー(小学館文庫 あ 18-4)

浅田 次郎 著

小学館

婚約者の求めで日本にやってきた米国人青年。東京、京都、大阪、大分、釧路…。神秘のニッポンを知る旅を始めた彼を待ち受ける驚きの出来事と、感涙の結末とは? 浅田次郎が世に問う「日本再発見」小説。 2018:10./ 397p 978-4-09-406564-0 本体 ¥750+税

読売新聞 2018/10/28

読売新聞 2018/10/28



白いジオラマ

堂場 瞬一著中央公論新社

元刑事の祖父・麻生和馬にバイトとしてある老女の張り込みを命じられた、元引きこもりの孫・新城将。調査を開始した彼が垣間見た、街のリアルとは…。学芸通信社の配信により『山陰中央新報』等に掲載されたものを単行本化。

日により。田伝「人が日本日本には我にないこのっと中日本日。

2018:10./ 352p 978-4-12-005126-5 本体 ¥1,500+税



薩摩の密偵桐野利秋~「人斬り半次郎」の真実~(NHK 出版新書 564)

桐野 作人 著

NHK出版

幕末維新期きっての剣客「人斬り半次郎」として知られる桐野利秋とは、果たして何者 だったのか。諜報家としての一面から陸軍少将への任官、西南戦争での壮絶な最期 まで。激動の時代に暗躍した西郷隆盛の懐刀の実像に迫る。

2018:9./ 246p 978-4-14-088564-2 本体 ¥820+税

読売新聞 2018/10/28



女ぎらい~ニッポンのミソジニー~(朝日文庫 う5-9)

上野 千鶴子 著

朝日新聞出版

皇室から婚活、負け犬、DV、モテ、少年愛、自傷、援交、東電 OL、秋葉原事件ま で。男の"女ぎらい"と女の"生きづらさ"を解剖する。『WEBRONZA』連載の「諸君!晩 節を汚さないように」など2本の論考も収録。

2018:10./389p 978-4-02-261943-3 本体 ¥920+税

読売新聞 2018/10/28



ムスリム女性に救援は必要か

ライラ・アブー=ルゴド、鳥山 純子、嶺崎 寛子 著 書肆心水

ムスリム女性の権利の侵害に対する抗議運動をグローバルに展開しようとする人々の 仕事や、枠組みを検討。その言説構造と問題点を明らかにし、それにかわる、現実に 即した公正さを提唱する。

2018:9./350p 978-4-906917-83-9 本体 ¥3,600+税

読売新聞 2018/10/28



U&I∼A True Story∼

ニコルソン・ベイカー、有好 宏文 著

白水社

憧れの大作家への尊敬、嫉妬、畏怖、不安...。「読まず語り」「記憶批評」など、自ら 編み出した技法を駆使しつつ、ジョン・アップダイクへの矛盾に満ちた感情を研究し、 緻密なまでに描写する。

2018:9./ 220p 978-4-560-09649-9 本体 ¥2,400+税

読売新聞 2018/10/28、毎日新聞 2018/10/28



The KLF~ハウス・ミュージック伝説のユニットはなぜ 100 万ポンドを燃やすにいた ったのか~

ジョン・ヒッグス、中島 由華 著

河出書房新社

無断サンプリング、チルアウト、そして自爆-。結成から成功の果てに大金を燃やすま での「奇行」の数々が白日の下に!音楽史上類を見ない逸話を残したイギリスのハウ スミュージックユニット「The KLF」の評伝。

2018:6./ 266p 978-4-309-27953-4 本体 ¥3,000+税

日本経済新聞 2018/10/06



胃袋の近代~食と人びとの日常史~

湯澤 規子 著

名古屋大学出版会

-膳飯屋、残飯屋、共同炊事など、都市の雑踏や工場の喧騒のなかで始まった外食 の営みを活写。「人びと」と「食」をめぐる問題を中軸に据え、「胃袋」を通して<日本の 近代>という時代を明らかにする。

2018:6./ 5p,325p,18p 978-4-8158-0916-4 本体 ¥3,600+税



株主を大事にすると経営は良くなるは本当か?~THE ESSENCE OF CORPORATE GOVERNANCE~

中島 茂著

日本経済新聞出版社

形式だけの「ガバナンス経営」に社会はノーを突きつける!「企業価値の維持・向上」に向けて取り組むときに課題となる経営理念、配当・投資政策、ガバナンスの充実、総会のあり方、株主との対話について実践的に解説する。

2018:7./ 274p 978-4-532-32214-4 本体 ¥1,700+税

日本経済新聞 2018/10/06



総介護社会~介護保険から問い直す~(岩波新書 新赤版 1731)

小竹 雅子 著

岩波書店

度重なる制度改正は利用者に何をもたらしたのか。介護保険制度を最新のデータとともに、わかりやすく解説。ひとり暮らしの増加など家族の変化、介護労働の現状を背景に、全世代をみすえた制度のあり方を考える。

2018:7./ 12p,254p 978-4-00-431731-9 本体 ¥840+税

日本経済新聞 2018/10/06



やっぱり食いしん坊な歳時記

辰巳 琢郎 著

集英社

旬のものを現地で味わい、うんちくツマミにもう一杯。食通で知られる俳優・辰巳琢郎が、舌の記憶をたどりながら、身近な 48 食材を深く掘り下げたエッセイ集。『THE GOLD』ほか連載に加筆し書籍化。

2018:8./ 207p 978-4-08-786104-4 本体 ¥1,400+税

日本経済新聞 2018/10/06



焦土の刑事

堂場 瞬一著

講談社

1945 年東京大空襲の日、防空壕で女性の遺体が発見される。首には刃物による切り傷が。犯罪として捜査を進める京橋署刑事の高峰だが、署長から「空襲の被害者だ」と言われる。殺人事件のもみ消し、そしてまた殺人が起き…。

2018:7./ 368p 978-4-06-512152-8 本体 ¥1,700+税

日本経済新聞 2018/10/06



アメリカ経済~成長の終焉~<上>

ロバート・J.ゴードン、高遠 裕子、山岡 由美 著 ロ経RD社

日経BP社

アメリカの経済成長の隆盛と衰退をテーマに、独立戦争後から始まるアメリカ国民の 生活水準の劇的な変化を、イノベーションの観点からダイナミックに描く。上は、1870 年から 1940 年までを収録。 2018:7./ 545p 978-4-8222-5576-3 本体 ¥3,600+税

日本経済新聞 2018/10/06



アメリカ経済~成長の終焉~<下>

ロバート・J.ゴードン、高遠 裕子、山岡 由美 著 日経BP社

アメリカの経済成長の隆盛と衰退をテーマに、独立戦争後から始まるアメリカ国民の 生活水準の劇的な変化を、イノベーションの観点からダイナミックに描く。下は、1940 年から 2015 年までを収録。

日本経済新聞 2018/10/06

2018:7./ 589p 978-4-8222-5577-0 本体 ¥3,800+税



銀行デジタル革命~決定版~

木内 登英 著

東洋経済新報社

加速するキャッシュレス化。元日銀審議委員が、日本のフィンテック対応や電子決済、銀行の現状と課題、仮想通貨投資の行方、世界の中央銀行の動向などを詳細に追いつつ、通貨のデジタル化への道を展望する。

2018:8./ 246p 978-4-492-68145-9 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2018/10/06



徳政令~なぜ借金は返さなければならないのか~(講談社現代新書 2490)

早島 大祐 著

講談社

日本の中世社会では、徳政という名のもと、債務破棄が認められていた。では、現代のような、借金は返さなければならないという意識を共有する社会はいかに形成されたのか。近世までの歴史を追い、その過程を明らかにする。

2018:8./ 314p 978-4-06-512902-9 本体 ¥880+税

日本経済新聞 2018/10/06



平成風雲録~政治学者の時間旅行~

御厨 貴 著

文藝春秋

今や、メディアは政治を論じるのではなく、政治を消費している-。第一線の政治学者・御厨貴が、時代を見抜く目を養う"御厨流政治道場"を開講! 現場を歩き、時代の証人の語りを引き出す。

2018:9./ 244p 978-4-16-390898-4 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2018/10/06



昭和史と私(文春学藝ライブラリー)

林 健太郎 著

文藝春秋

紛争で過激派学生と渡り合ったのちの東大総長も、若き日はマルクス主義の学生だった-。歴史学の泰斗が、金融恐慌から太平洋戦争、冷戦と安保騒動、ベルリンの壁崩壊まで、自らの半生を重ね合わせながら活写した激動の昭和史。

2018:10./ 378p 978-4-16-813076-2 本体 ¥1,350+税

日本経済新聞 2018/10/06



悪態の科学~あなたはなぜ口にしてしまうのか~

エマ・バーン、黒木 章人 著

原書房

クソ、ちくしょう、ふざけんな! 科学者たちが注目する驚きの効用から脳の仕組み、罵倒語を話すサルまで、辞書にも載らない汚い言葉(タブー)を、神経科学、言語学、行動心理学の貴重な実験・研究結果から解き明かす。

2018:8./ 263p,7p 978-4-562-05591-3 本体 ¥2,200+税

日本経済新聞 2018/10/06、朝日新聞 2018/10/27



国宝<上> 青春篇

吉田 修一 著朝日新聞出版

1964 年元旦、長崎の老舗料亭で、この国の宝となる役者・立花喜久雄は生まれた。この世ならざる美貌は人々を巻き込み、喜久雄の人生を思わぬ域にまで連れ出し…。『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

978-4-02-251565-0 本体 ¥1,500+税

2018:9./351p

日本経済新聞 2018/10/06、朝日新聞 2018/10/27



国宝<下> 花道篇

吉田 修一 著朝日新聞出版

技をみがき、道を究めようともがく男たち。血族との深い絆と軋み、信頼と裏切り。舞台、映画、テレビと芸能界の転換期を駆け抜け、その頂点に登りつめた先に何が見えるのか?『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

2018:9./ 353p 978-4-02-251566-7 本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2018/10/06、朝日新聞 2018/10/27



評伝田中一村

大矢 鞆音 著 生活の友社

誰も知らなかった日本画家・田中一村の真実とは。一村研究の第一人者・大矢鞆音が、同時代に生きた父・大矢黄鶴の姿を重ね、独自の取材で追い続けた渾身の研究書。図版も多数収載する。『南海日日新聞』連載記事を基に書籍化。

2018:7./ 708p 978-4-908429-19-4 本体 ¥4,500+税

日本経済新聞 2018/10/06、東京・中日新聞 2018/10/21



実歴 阿房列車先生(中公文庫 ひ37-1)

平山 三郎 著中央公論新社

貴君、僕は大阪へ行って来ようと思う-。1950年秋、この一言から汽車に乗りたかった 内田百間の「阿房列車」シリーズは始まった。5年間の全行程に同行した著者が、百鬼園の旅と日常を豊富なエピソードを交えて綴る。 2018:9./ 341p 978-4-12-206639-7 本体 ¥1,000+税

日本経済新聞 2018/10/06、読売新聞 2018/10/28



マクルーハン理論~電子メディアの可能性~(平凡社ライブラリー)

M.マクルーハン、E.カーペンター 著

平凡社

「メディアはメッセージ」のセンセーションを理論的に凝縮し、電子メディア時代の多様な知見を拡大深化させた論集。 先駆者として甦るマクルーハンの理論を多彩な視角から浮き彫りにする。 サイマル出版会 81 年刊の再刊。

2003:3./ 331p 978-4-582-76461-1 本体 ¥1,200+税

日本経済新聞 2018/10/13



医者が教える食事術最強の教科書~20 万人を診てわかった医学的に正しい食べ方 68~

牧田 善二 著ダイヤモンド社

最新の医療データをもとに、医学的に正しい食べ方を紹介。さらに、肥満、老化、病気がどのように起こるかというメカニズムを説明しながら、血糖値を上手にコントロールする食事術を解説する。長生きの10大ルールも掲載。

2017:9./ 279p 978-4-478-10221-3 本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2018/10/13



民主主義にとって政党とは何か~対立軸なき時代を考える~(セミナー・知を究める3)

待鳥 聡史 著

マラスルヴァ書房

政党不要論のなかで、政党は生き残れるか。利益配分政治が終焉を迎えた現在の 日本に焦点を合わせ、歴史と理論の両面から、日本の政党政治の行方を問う。

本体 ¥2,600+税

2018:6./ 4p,233p,5p

978-4-623-08359-6



VR は脳をどう変えるか?~仮想現実の心理学~

ジェレミー・ベイレンソン、倉田 幸信 著

文藝春秋

VR はエンタテイメントだけでなく、医療、教育、スポーツの世界を一変させ、私たちの日常を全く新しい未来へと導く。VR 研究のトップが数々の心理学実験で解明した、驚愕の実力を紹介する。

2018:8./ 364p 978-4-16-390884-7 本体 ¥2,200+税

日本経済新聞 2018/10/13



Sport 2.0~進化する e スポーツ、変容するオリンピック~

アンディ・ミア、田総 恵子 著

NTT出版

スポーツ文化とゲーム文化を融合する! 気鋭のイギリス人研究者が、ポストヒューマン時代におけるスポーツの未来を構想する。2020 年東京オリンピックへのヒント。稲見昌彦東京大学教授による解説付き。

2018:8./ 387p,16p 978-4-7571-6073-6 本体 ¥2,800+税

日本経済新聞 2018/10/13



沖縄の淵~伊波普猷とその時代~(岩波現代文庫)

鹿野 政直 著

岩波書店

自立と従属のはざまで苦闘しながら民俗研究の独自のフィールドを切り拓いた「沖縄学」の父・伊波普猷。彼の作品を丹念に読み解き、その生涯と思索を軸に沖縄近代の精神史を描き出す。八重洋一郎の思索も収録。

2018:8./ 17p,459p 978-4-00-600386-9 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2018/10/13



稼げる FTA 大全~すぐ実践!利益がぐんぐん伸びる~

羽生田 慶介 著

日経BP社

会社を潰すのも、成長させるのも、FTA への備え次第だ!「FTA」をフル活用して企業の利益を引き上げ、コスト削減を図るための知識と方法を解説する。世界における発行済み FTA の一覧も掲載。

2018:7./ 277p 978-4-8222-5784-2 本体 ¥2,500+税

日本経済新聞 2018/10/13



闇の日本美術(ちくま新書 1356)

山本 聡美 著

筑摩書房

日本人は生老病死をどうとらえ、どう描いてきたのか。 絵巻や掛幅画に描かれた闇について、仏教思想や身体観、歴史的事件などを手がかりに「地獄」「鬼と怪異」「病」「死」「断罪」「悲しき女」の各テーマに分けて読み解く。

2018:9./ 213p 978-4-480-07168-2 本体 ¥880+税

日本経済新聞 2018/10/13



元年春之祭(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1935)

陸 秋槎 著

早川書房

2000 年以上前の前漢時代の中国。山中の名家を訪ねてきた少女は、かつてこの地で奇妙な殺人事件が起きたことを聞き、その推理を試みる。そこに新たな事件が…。 気鋭の中国人作家による本格ミステリ。

本体 ¥1,500+税

2018:9./ 326p 978-4-15-001935-8



世界の空き家対策~公民連携による不動産活用とエリア再生~

米山 秀隆、小林 正典、室田 昌子、小柳 春一郎、倉橋 透、周藤 利一 著学芸出版社

海外ではなぜ空き家が放置されないのか。多彩な政策と公民連携による空き家リサイクルを行うフランス、行政主導で空き家を市場に戻すイギリスなど、海外各国の空き家を「負動産」にしないエリア再生術を紹介する。

2018:8./ 206p 978-4-7615-2686-3 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2018/10/13



e スポーツ論~ゲームが体育競技になる日~

筧 誠一郎 著

ゴマブックス

世界から 7 年遅れている日本が、e スポーツ先進国になるために、何をするべきか。 競技性のあるテレビゲームや PC ゲーム「e スポーツ」の歴史や日本での流れ、プロゲーマーの可能性、大会等を、第一人者が解説する。

2018:8./ 158p 978-4-8149-2015-0 本体 ¥1,300+税

日本経済新聞 2018/10/13



なぜ、世界のエリートはどんなに忙しくても美術館に行くのか?

岡崎 大輔 著

SBクリエイティブ

米国で様々な能力を伸ばす効果が実証された、ニューヨーク近代美術館考案のヴィジュアル・シンキング・カリキュラム。このメソッドを源流にした、世界のエリートがやっている、人生と仕事が劇的に変わる美術鑑賞法を紹介する。

2018:9./ 197p 978-4-7973-9714-7 本体 ¥1,400+税

日本経済新聞 2018/10/13



高橋悠治という怪物

青柳 いづみこ 著 河出書房新社

作曲家、ピアニスト、批評家として様々な表現行為をきりひらいてきた高橋悠治。グレン・グールドとの対比から、20 世紀音楽との関わり、独自な民衆音楽への志向性まで、ピアニスト・文筆家の著者による実感的・高橋悠治論。

2018:9./ 263p 978-4-309-27976-3 本体 ¥2,850+税

日本経済新聞 2018/10/13



もう一つの「バルス」~宮崎駿と『天空の城ラピュタ』の時代~ 増補改訂版(講談社文庫 き 66-3)

木原 浩勝 著

講談社

スタジオジブリ創立第 1 作にして会社の存亡がかかった「天空の城ラピュタ」。多くの 難題に宮崎監督やスタッフたちはどう立ち向かったのか。 元ジブリ制作進行が監督の 素顔、制作過程、作品考察を交えながら創作秘話を描く。 2018:9./ 239p 978-4-06-512828-2 本体 ¥700+税

日本経済新聞 2018/10/13



貨幣が語るローマ帝国史~権力と図像の千年~(中公新書 2508)

比佐 篤 著

中央公論新社

古代ローマでは、発掘されただけでも数万種類にのぼる貨幣が存在した。神話の神々、皇帝たちの肖像など図像は多岐に渡る。彼らは貨幣を用いて何をアピールしようとしたのか。図像と銘文から読み解く、新しい古代ローマ史入門。

本体 ¥820+税

978-4-12-102508-1

2018:9./ 9p,234p



子どもの英語にどう向き合うか(NHK 出版新書 562)

鳥飼 玖美子 著

NHK出版

英語一辺倒の日本社会。子どもたちに本当に必要な英語力とは?子どもを取り巻く 英語教育の問題点を、言語、英語教育史、発達心理学など様々な視点から考察し、 未来へつながる英語力を育てるための心得を説く。 2018:9./ 226p 978-4-14-088562-8 本体 ¥820+税

日本経済新聞 2018/10/13



仕事にしばられない生き方(小学館新書 324)

ヤマザキ マリ 著

小学館

好きな仕事をどこまで頑張るか。金にならない職業をいつまで続けるか。チリ紙交換、 絵描き、大学教師、リポーター、勤め人など幾多の職業を経験してきた著者が、自由 に生きるための「お金」と「働くこと」について語る。 2018:10./ 317p 978-4-09-825324-1 本体 ¥880+税

日本経済新聞 2018/10/13



フランシス・フォード・コッポラ、映画を語る~ライブ・シネマ、そして映画の未来~

フランシス・フォード・コッポラ、南波 克行 著

フィルムアート社

アメリカ映画の巨匠フランシス・フォード・コッポラ、初の映画論。コッポラ最後のプロジェクトと喧伝される「ライブ・シネマ」の構想を通して、幼年時代における映画/テレビとの出会いから最先端技術との格闘までを語る。

2018:9./ 225p,4p 978-4-8459-1803-4 本体 ¥2,100+税

日本経済新聞 2018/10/13



<焼跡>の戦後空間論

逆井 聡人 著

青弓社

焼跡や闇市を表象する小説や映画、批評を検証し、私たちがもつ戦後日本という歴 史認識や国土イメージをあぶり出す。閉塞する「戦後日本」という枠組みから、「冷戦 期日本」という歴史認識へのパラダイムシフトを提起する試み。 2018:8./ 354p 978-4-7872-3439-1 本体 ¥3,400+税

日本経済新聞 2018/10/13、東京・中日新聞 2018/10/28



話芸の達人~西条凡児・浜村淳・上岡龍太郎~

戸田 学著

青土社

語りだせば、すぐさまその声が聴こえてくる-。落語、漫談、講談を捉えかえし、自らの一人芸を創りだした、西条凡児・浜村淳・上岡龍太郎の話術の妙を記す。『産経新聞』大阪本社版夕刊連載に加筆訂正し単行本化。

2018:8./ 251p 978-4-7917-7093-9 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2018/10/13、毎日新聞 2018/10/21



嵐が丘(新潮文庫)

エミリー・ブロンテ 著 新潮社

日本経済新聞 2018/10/20

2003:6./ 707p 978-4-10-209704-5 本体 ¥840+税

No Image

人間であること(岩波新書)

時実利彦 著 岩波書店

日本経済新聞 2018/10/20

1970:1./ 216p 978-4-00-416124-0 本体 ¥820+税



坊っちゃん 改版(新潮文庫)

夏目 漱石 著新潮社

日本経済新聞 2018/10/20

2003:4./ 216p 978-4-10-101003-8 本体 ¥310+税



道をひらく

松下 幸之助 著 PHP研究所 日本経済新聞 2018/10/20 1968:1./ 271p 978-4-569-53407-7 本体 ¥870+税



再配分か承認か?~政治・哲学論争~(叢書・ウニベルシタス 983)

ナンシー・フレイザー、アクセル・ホネット 著

法政大学出版局

アイデンティティと差異をめぐる「承認」と、富を還元する「再配分」を根本的に問うことで、資本主義に対する批判理論において道徳哲学・社会理論・政治分析の統合を目指した画期的な論争。

2012:10./ 5p,327p,45p 978-4-588-00983-9 本体 ¥3,800+税

日本経済新聞 2018/10/20



人工知能は人間を超えるか~ディープラーニングの先にあるもの~(角川 EPUB 選書 021)

松尾 豊 著

KADOKAWA

最先端の人工知能技術「ディープラーニング」。そのテクノロジーは、ヒトを超える存在を生み出すのか。人間の仕事を、人類の価値を奪うのか。トップクラスの人工知能学者が、人工知能の現在の実力や状況、可能性を伝える。

2015:3./ 263p 978-4-04-080020-2 本体 ¥1,400+税

日本経済新聞 2018/10/20



貞観政要(ちくま学芸文庫 コ43-1)

呉 兢 著

筑摩書房

唐代、治世の問題を真正面から取り扱い、帝王学の指南書となった「貞観政要」。そこには、汲めども尽きぬ教訓が今も満ち溢れている。明代の通行本(戈直本)を底本とし、全篇より70篇を精選し訳出する。

2015:9./ 256p 978-4-480-09695-1 本体 ¥1,000+税



帳簿の世界史(文春文庫 S22-1)

ジェイコブ・ソール 著

文藝春秋

なぜスペイン帝国は没落したのか、なぜフランス革命は起きたのか…。歴史の裏には すべて、帳簿を駆使する会計士たちがいた。歴史家たちが見逃してきた「帳簿の世 界史」を、会計と歴史のプロフェッショナルが紐解く。 2018:4./ 414p 978-4-16-791060-0 本体 ¥880+税

日本経済新聞 2018/10/20



WORK DESIGN~行動経済学でジェンダー格差を克服する~

イリス・ボネット、池村 千秋 著

NTT出版

「慣行とプロセスを変える」「能力を築く」「リスクのある環境のバイアスを緩和する」...。 ハーバードの女性行動経済学者が、男女平等を実現するためのステップを、科学的 な知見に基づいて解説する。 2018:7./ 435p 978-4-7571-2359-5 本体 ¥2,700+税

日本経済新聞 2018/10/20



小数と対数の発見

山本 義隆 著

日本評論社

<60 進の小数><10 進位取り記数法>等、科学的知の根本を支え、解析学への途を拓いたこれらの概念は、どのように発見され、展開されたのだろうか? 科学史家によって描き出される壮大な物語。『数学文化』連載を書籍化。

2018:7./ 3p,250p 978-4-535-79813-7 本体 ¥2,800+税

日本経済新聞 2018/10/20



折口信夫秘恋の道

持田 叙子 著

慶應義塾大学出版会

彼は恋の至福を人生のしるべとして生きた人である。その生きかたを、創作にも学問にも濃く反映した詩人学者である-。大阪の少年時代から若き教師時代、晩年まで、 歓びと悲しみに彩られた折口信夫の人生をたどる。 2018:9./ 478p 978-4-7664-2532-1 本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2018/10/20



日傘を差す女

伊集院 静著

文藝春秋

都心のビルの屋上で、捕鯨船の伝説の砲手である老人が、胸に銛が刺さった遺体で発見される。捜査本部は自殺と結論づけるが、酷似した凶器で殺害された遺体が次々と見つかり…。『オール讀物』連載に加筆して書籍化。

2018:8./ 395p 978-4-16-390881-6 本体 ¥1,700+税

日本経済新聞 2018/10/20



TRUST~世界最先端の企業はいかに<信頼>を攻略したか~

レイチェル・ボッツマン、関 美和 著

日経BP社

なぜ政府や企業、マスコミを信頼しないのに、見知らぬ人間の口コミは信用するのか? 急激なパラダイムシフトのなかで、企業・個人がデジタル時代の「信頼」を攻略する仕 組みを解説する。

日本経済新聞 2018/10/20

2018:7./ 374p,54p 978-4-8222-5556-5 本体 ¥2,000+税



ネットカルマ~邪悪なバーチャル世界からの脱出~(角川新書 K-224)

佐々木 閑 著

KADOKAWA

自らの行いが自らに帰すとするカルマ(業)。その思想に向き合い、乗り越える術を見出したのがブッダだった。現代のインターネットはカルマそのものであるとする仏教研究者が、ブッダの言葉にネット社会を生きるヒントを探る。

2018:8./ 203p 978-4-04-082145-0 本体 ¥800+税

日本経済新聞 2018/10/20



帝国化する日本~明治の教育スキャンダル~(ちくま新書 1357)

長山 靖生 著

筑摩書房

明治初頭の合理主義教育は、なぜ精神主義へと堕したのか。哲学館事件など象徴的事件から、明治初頭の実学優先・合理主義の教育が教養・精神主義に転換し、国家と天皇の神聖化、帝国神話強化に向かうメカニズムを解読する。

2018:9./ 238p 978-4-480-07174-3 本体 ¥800+税

日本経済新聞 2018/10/20



ドリーム・マシーン~悪名高き V-22 オスプレイの知られざる歴史~

リチャード・ウィッテル、影本 賢治 著

鳥影社

ヘリコプターのように垂直に離着陸し、ホバリングすることができ、かつ、飛行機のようにはやく、遠くまで飛べる航空機を目指したオスプレイ。米国でのオスプレイの開発や装備化の間に生起した数々の問題を描く。

2018:9./ 748p 978-4-86265-686-5 本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2018/10/20



バンカラの時代~大観、未醒らと日本画成立の背景~

佐藤 志乃 著

人文書院

西洋文化に心酔するハイカラと、自らのナショナリティを重視するバンカラのせめぎあいから生まれた明治という時代。日本国民の無意識を掬いとったともいえる大観と未醒の画業の光と影を、当時の価値観に近づいてみつめる。

2018:8./ 306p 978-4-409-10039-4 本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2018/10/20



語りかける身体~看護ケアの現象学~(講談社学術文庫 2529)

西村 ユミ 著

講談社

他者との交流が不可能とされるいわゆる「植物状態」の患者。だが看護師たちは彼ら との交流を実感している。メルロ=ポンティの「身体論」を手がかりに身体固有の始源 的次元へと立ち帰り、看護という営みそのものを論じる。 2018:10./ 283p 978-4-06-513530-3 本体 ¥1,110+税

日本経済新聞 2018/10/20



宇宙はどこまで行けるか~ロケットエンジンの実力と未来~(中公新書 2507)

小泉 宏之 著

中央公論新社

月や小惑星で資源を採掘、火星に有人探査機を送る-。ベンチャー企業が勃興し、宇宙が新たなビジネスの主戦場になりつつある。世界初の小型イオンエンジン実用化を果たした若き研究者が、人類の可能性の限界に迫る。

2018:9./ 2p,309p 978-4-12-102507-4 本体 ¥1,000+税



「リンゴの唄」の真実~戦後初めての流行歌を追う~

永嶺 重敏 著

青弓社

敗戦後の人々を勇気づけたとされる「リンゴの唄」は、どのようにして誕生し、当時のメディアとどのような関係を切り結び、どのように人々に歌われたのか。「リンゴの唄」のリアルな姿を捉え直し、その力を再検討する。

2018:10./ 194p 978-4-7872-2079-0 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2018/10/20



NORTH 北へ~アパラチアン・トレイルを踏破して見つけた僕の道~

スコット・ジュレク、栗木 さつき 著

NHK出版

ウルトラマラソン界の王者スコット・ジュレクの新たな挑戦、それはアパラチアン・トレイルの最速踏破記録の樹立-。脚の激痛、孤独感、幻覚、原生自然との闘い...。46 日8時間7分にわたる激闘を日記風に綴った回想録。

2018:9./ 358p 図版 16p 978-4-14-081754-4 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2018/10/20

No Image

減価償却の知識 第18版(日経文庫 47)

沼田嘉穂 著

日本経済新聞出版社

日本経済新聞 2018/10/20

1985:1./ 222p 978-4-532-01047-8 本体 ¥602+税



三島由紀夫紀行文集(岩波文庫 31-219-1)

三島 由紀夫、佐藤 秀明 編

三島 由紀夫 著

岩波書店

南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア各国を、晩年まで旅行していた三島由紀夫。20 代の三島の初めての世界旅行の記録で、作家の転換点ともなった重要作「アポロの杯」をはじめ、海外・国内の紀行文、全25 篇を精選収録する。

2018:9./ 371p 978-4-00-312191-7 本体 ¥850+税

日本経済新聞 2018/10/20、産経新聞 2018/10/21



「混血」と「日本人」~ハーフ・ダブル・ミックスの社会史~

下地 ローレンス吉孝 著

青土社

「日本人」の境界線はどのように引かれているのか。公文書・新聞などの史資料を分析し、日本社会の人種化と「混血」「ハーフ」の歴史に迫るとともに、インタビュー調査を通じて、混血やハーフのライフヒストリーをまとめる。

2018:8./ 450p,26p 978-4-7917-7094-6 本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2018/10/20、東京・中日新聞 2018/10/21



金融正常化へのジレンマ

岩田 一政、左三川 郁子、日本経済研究センター 著

日本経済新聞出版社

日銀の長期戦に勝算はあるか。日銀が実施してきたマイナス金利政策以降の非伝統 的金融緩和政策を取り上げ、導入の背景や政策の効果、副作用についての解明を 試みる。

2018:9./ 5p,405p 978-4-532-35787-0 本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2018/10/20、読売新聞 2018/10/28



記憶・歴史・忘却<上>

ポール・リクール 著

新曜社

「記憶と忘却」の問題を手掛かりに記憶と歴史、個人的記憶と集合的記憶、赦しと和解などの問題を取り上げ、現代における歴史叙述の可能性にまで及ぶ、壮大な「記憶の政治学」の試み。

2004:8./ 460p 978-4-7885-0911-5 本体 ¥5,300+税

日本経済新聞 2018/10/27



気候カジノ〜経済学から見た地球温暖化問題の最適解〜

ウィリアム・ノードハウス、藤崎 香里 著

日経BP社

さらなる経済成長と地球温暖化の防止は両立できる-。地球温暖化問題を取り巻く科学と経済学と政治、そして今日までの軌道を修正するために必要な取り組みを紹介。 米国経済学の権威による、進まない温暖化対策への緊急提言。 2015:3./ 449p 978-4-8222-5076-8 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2018/10/27



世界を変える日本式「法づくり」~途上国とともに歩む法整備支援~

国際協力機構 編 佐藤 直史 著 文藝春秋

ダムや橋ではなく、その国に合った「法づくり」の支援。今や日本の国際協力の大きな柱に成長した JICA 法整備支援の二十年の記録。

2018:6./ 298p 978-4-16-008927-3 本体 ¥1,300+税

日本経済新聞 2018/10/27



市場って何だろう~自立と依存の経済学~(ちくまプリマー新書 302)

松井 彰彦 著

筑摩書房

自立するために、多くの依存先を持とう! 自立のためのさまざまな依存先を提供しうる市場という頼れる存在。市場の原理をゲーム理論で読み解きながら、そのあり方・可能性を考える。

2018:7./ 198p 978-4-480-68324-3 本体 ¥820+税

日本経済新聞 2018/10/27



歴史と統計学~人・時代・思想~

竹内 啓 著

日本経済新聞出版社

古代中国、ローマ帝国から説き起こし、ベイズ統計学の復活、ビッグデータ時代の課題まで、2000年に及ぶ統計と統計学の軌跡を、論争、人間模様などのエピソードも交えて興味深く解説する。『統計』連載に加筆し書籍化。

2018:7./ 8p,565p 978-4-532-13482-2 本体 ¥4,800+税

日本経済新聞 2018/10/27



パール・ハーバー~恥辱から超大国へ~<上>

クレイグ・ネルソン、平賀 秀明 著

白水社

日米開戦前史から<ゼロ戦>による真珠湾攻撃まで、米国のノンフィクション作家が、 史料と証言を駆使して、日米両国の戦いの経緯と歴史の裏面を縦横に描く。口絵写 真・地図も収録。

日本経済新聞 2018/10/27

2018:7./ 388p 978-4-560-09646-8 本体 ¥3,800+税



パール・ハーバー~恥辱から超大国へ~<下>

クレイグ・ネルソン、平賀 秀明 著

白水社

真珠湾攻撃の惨状から「容赦なき戦争」、勝利と敗北、現代まで、米国のノンフィクション作家が、史料と証言を駆使して、日米両国の戦いの経緯と歴史の裏面を縦横に描く。口絵写真・地図も収録。

2018:7./ 367p,34p 978-4-560-09647-5 本体 ¥3,800+税

日本経済新聞 2018/10/27



鬼と日本人(角川ソフィア文庫 J101-5)

小松 和彦 著

KADOKAWA

雷神、酒呑童子、茨木童子、節分の鬼、ナマハゲ...。いかにして鬼は私たちの精神世界に住み続けてきたのか。鬼とはいったい何者なのか。日本の「闇」の歴史の主人公の正体に迫る。

2018:7./ 269p 978-4-04-400402-6 本体 ¥880+税

日本経済新聞 2018/10/27



今夜はひとりぼっちかい?~日本文学盛衰史 戦後文学篇~

高橋 源一郎 著

講談社

「戦後文学」をテーマに、誰にも読まれなくなった難物を、ロックやパンク、ラップにのせ、ブログや twitter まで使って揉みほぐす。そんなある日、タカハシさんは「戦災」に遭い…。『群像』掲載をもとに単行本化。

2018:8./ 365p 978-4-06-218011-5 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2018/10/27



現代経済学~ゲーム理論・行動経済学・制度論~(中公新書 2501)

瀧澤 弘和 著

中央公論新社

20 世紀半ば以降、急速に多様化した経済学。ミクロ及びマクロ経済学はもとより、ゲーム理論、行動経済学や神経経済学などの大きな潮流を捉え、経済学の現在地と未来、果たすべき役割を明らかにする。

2018:8./ 10p,278p 978-4-12-102501-2 本体 ¥880+税

日本経済新聞 2018/10/27



友情だねって感動してよ

小嶋 陽太郎 著

新潮社

優等生で日和見主義の「僕」とガールフレンドの吉川、そして人形の<はるちゃん>と 会話するクラスメイト・湯浅の奇妙で切ない友情関係を描いた表題作をはじめ、全 6 篇を収録。『小説新潮』掲載を単行本化。 2018:9./ 251p 978-4-10-352061-0 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2018/10/27



中国経済講義~統計の信頼性から成長のゆくえまで~(中公新書 2506)

梶谷 懐 著

中央公論新社

中国の経済統計は信頼できるか。不動産バブルを止められるか。格差問題を乗り越えられるか。中国経済が直面する根本的な課題について分析。表面的な変化の奥にある、中国経済の本質を明らかにする。

978-4-12-102506-7 本体 ¥880+税

2018:9./ 5p,255p



グリッドロック経済~多すぎる所有権が市場をつぶす~

マイケル・ヘラー、山形 浩生、森本 正史 著

亜紀書房

過剰な所有権のぶつかり合いは、経済の渋滞を招き、イノベーションを停滞させる!? 自由市場と私的所有のパラドックスを明らかにし、様々な問題に通じる、所有権者の 多さや不明確さを共通的に理解する方法を示す。

2018:9./ 343p,47p 978-4-7505-1563-2 本体 ¥2,800+税

日本経済新聞 2018/10/27



愛読の方法(ちくま新書 1363)

前田 英樹 著 筑摩書房

見栄でするやたらな読書は、人をどこまでも愚かにする-。文字に書かれたものへの軽信を免れるための手だてとは?ショーペンハウエル、アラン、宣長など古今の愛読の達人の営みに範をとり、本に救われる唯一の方法を示す。

2018:10./ 206p 978-4-480-07173-6 本体 ¥760+税

日本経済新聞 2018/10/27



用心棒(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1936)

デイヴィッド・ゴードン 著

早川書房

ハーバード中退、元陸軍特殊部隊、愛読書はドストエフスキー。異色の用心棒ジョーは、FBI によるテロリスト取り締まりのとばっちりに業を煮やしたニューヨーク暗黒街の顔役たちに、テロリスト追跡を命じられるが…。

2018:10./ 317p 978-4-15-001936-5 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2018/10/27



農業崩壊~誰が日本の食を救うのか~

吉田 忠則 著 日経BP社

高齢農家の地滑り的なリタイアを受け、日本の食料生産はますます脅かされようとしている。過小評価されがちな「小泉進次郎」「植物工場」「企業の農業参入」の可能性に光を当て、農業崩壊を防ぐための手がかりを探る。

2018:9./ 333p 978-4-8222-5588-6 本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2018/10/27



深淵の色は 佐川幸義伝

津本陽著

実業之日本社

大東流合気武術を極めた天才武術家・佐川幸義の生涯と弟子が見た素顔とは-。剣豪小説の第一人者・津本陽が、佐川の謎に満ちた生涯と合気の神髄に迫った渾身の遺作。『Web ジェイ・ノベル』掲載に加筆修正し単行本化。

2018:10./ 336p 978-4-408-53731-3 本体 ¥1,700+税

日本経済新聞 2018/10/27



"介護後"うつ~「透明な箱」脱出までの13年間~

安藤 和津 著 光文社

12 年間にわたり母の介護をした著者が、自身が体験した「介護うつ」、そしてもっと怖い「介護後うつ」の?末を綴る。つぶれない介護をするための方法や、身体・気持ちのメンテナンスも紹介。

日本経済新聞 2018/10/27

2018:10./ 206p 978-4-334-95055-2 本体 ¥1,300+税



シベリア鎮魂歌~香月泰男の世界~

立花 隆 著

文芸春秋

「シベリア・シリーズ」で知られる戦後最大の画家・香月泰男。著者 10 年の構想を経 て、ついに完成した研究書。香月泰男の作品群を4部に分けて論じる。1970年文芸 春秋刊「私のシベリヤ」テキスト部分の復刻も収録。

2004:8./ 391p 図版 978-4-16-365750-9 本体 ¥2,667+税

毎日新聞 2018/10/07

No Image

青春漂流(講談社文庫)

立花 隆 著 講談社

毎日新聞 2018/10/07

1988:6./ 278p 978-4-06-184223-6 本体 ¥580+税



武満徹・音楽創造への旅

立花 隆 著

文藝春秋

恋愛、青春、人生から創作の秘密まで、日本音楽界の巨星・武満徹に、知の巨人・立 花隆が迫った、前代未聞の傑作ノンフィクション。『文學界』連載を単行本化。

2016:2./781p 978-4-16-390409-2 本体 ¥4,000+税

毎日新聞 2018/10/07



鎖国前夜ラプソディ〜惺窩と家康の「日本の大航海時代」〜(講談社選書メチエ 669)

上垣外 憲一 著

講談社

そのとき日本は世界の最先端にいた! 現実政治家・徳川家康と理想主義者・藤原惺 窩の邂逅が生み出した「日本の大航海時代」は、鎖国前の輝ける時代だった。戦乱 から体制確立へと移りゆく時代の実像を大胆に描き出す。

2018:2./ 244p 978-4-06-258672-6 本体 ¥1,650+税

毎日新聞 2018/10/07



関ケ原前夜~西軍大名たちの戦い~(角川ソフィア文庫 I147-1)

光成 準治 著

KADOKAWA

太閤秀吉という支柱を失った後、関ケ原に至るまで、豊臣政権内部で何が起こってい たのか。毛利輝元ら西軍の外様大名に光をあて、ドラマでは描けない関ケ原前夜の 政治情勢・権力闘争の実態に迫る。

2018:3./ 396p 978-4-04-400248-0 本体 ¥1,080+税

毎日新聞 2018/10/07



孤独の発明~または言語の政治学~

三浦 雅士 著

講談社

なぜ人間だけが言葉を話すようになったのか?現地語・国語・普遍語、土着と外来、感 動の構造...。人間のあらゆる認識、思考、行為の根幹をなす、言語という現象の本質 に迫る。『群像』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

978-4-06-220880-2 本体 ¥3,500+税

2018:6./550p



静かに、ねぇ、静かに

本谷 有希子 著

講談社

ネットショッピング依存症から抜け出せず夫に携帯を取り上げられた妻。自分たちだけの「印」を世間に見せるために動画撮影をする夫婦…。SNS に頼り、翻弄され、救われる姿を描く。『群像』掲載を単行本化。

2018:8./ 188p 978-4-06-512868-8 本体 ¥1,400+税

毎日新聞 2018/10/07



偏見や差別はなぜ起こる?~心理メカニズムの解明と現象の分析~

唐沢 穣 編

ちとせプレス

人種・民族、障害、ジェンダー、リスク・原発、犯罪…。偏見や差別の原因は、いったいどこにあるのか。偏見や差別を解消するためには、どのような方策が有効なのか。 心理的な仕組みとその実態を、社会心理学で解説する。 2018:7./ 12p,290p 978-4-908736-10-0 本体 ¥2,500+税

毎日新聞 2018/10/07



錬金術の秘密~再現実験と歴史学から解きあかされる「高貴なる技」~(bibliotheca hermetica 叢書)

ローレンス·M.プリンチーペ 著

勁草書房

錬金術の本当の姿とは。古代ギリシア・エジプトから現代まで、歴史学によって「高貴なる技」が科学史、医学史、文化史に占めた地位を示すとともに、再現実験によって 錬金術師たちの実際の操作を検証する。 2018:8./ 11p,288p,37p 978-4-326-14830-1 本体 ¥4,500+税

毎日新聞 2018/10/07



金融危機と対峙する「最後の貸し手」中央銀行~破綻処理を促す新たな発動原則の提言:バジョットを超えて~

木下 智博 著

勁草書房

「最後の貸し手」機能は、どういう場合にどれだけの効果を発揮するのか。中央銀行の「最後の貸し手」機能について、理論と具体的事例の双方の裏付けを伴い体系的に解説。その制度設計や発動原則のあるべき姿を論じる。

2018:8./ 12p,481p 978-4-326-50447-3 本体 ¥5,500+税

毎日新聞 2018/10/07



埋もれた波濤

滑志田 隆 著

論創社

1983 年、北方の海上に消息を絶った大韓航空機。数多の無辜の命を奪ったのは、ソ 連戦闘機が放ったミサイルだった-。民間機の撃墜という未曽有の痛ましい事件を題 材にした表題作をはじめ、全4編を収録した小説集。

2018:8./ 267p 978-4-8460-1735-4 本体 ¥2,000+税



50歳からの孤独入門(朝日新書 684)

齋藤 孝 著

朝日新聞出版

「人生の後半戦」という覚悟を迫られる 50 歳。後悔の念や喪失の不安と、いかに折り 合いをつけることができるか? やがて訪れる孤独を、むしろ楽しむには? 古今東西の 先人の知恵から、後半生をよく生きる技術を導き出す。

2018:9./ 191p 978-4-02-273777-9 本体 ¥750+税

毎日新聞 2018/10/07



やっかいな男(Bros.books)

岩井 秀人 著

東京ニュース通信社

世界 VS やっかいなオレ。作家・演出家・俳優の岩井秀人が、あふれ出す自意識 と、気になってしかたがない他人たち、そして、創作の日々をつづる。西川美和・細馬 宏通との対談も収録。『TV Bros.』連載等を書籍化。

2018:9./ 253p 978-4-19-864695-0 本体 ¥1,700+税

毎日新聞 2018/10/07



ヒトラーのモデルはアメリカだった~法システムによる「純血の追求」~

ジェイムズ・Q.ウィットマン、西川 美樹 著

みすず書房

ナチスのニュルンベルク法を生み出したのは、人種主義のリーダー、アメリカの法制 度だった-。アメリカがヒトラーのジェノサイド政策に与えた影響を広範な史料から読み 解き、アメリカに深く根付いた人種主義をあぶりだす。

2018:9./ 176p,45p 978-4-622-08725-0 本体 ¥3,800+税

毎日新聞 2018/10/07、朝日新聞 2018/10/20



生存する意識~植物状態の患者と対話する~

エイドリアン・オーウェン、柴田 裕之 著 みすず書房

「植物状態」と診断された患者の脳が、問いかけに Yes と No で答えるなどの認知活 動をやってのけた事実が明らかとなった。 意識があるかないかの二分法では捉えきれ ない「グレイ・ゾーン」を探究する、緊迫の研究報告。

2018:9./ 293p,14p 978-4-622-08735-9 本体 ¥2,800+税

毎日新聞 2018/10/07、読売新聞 2018/10/28



北の海<上巻>(新潮文庫)

井上 靖 著 新潮社

毎日新聞 2018/10/14

2003:8./ 440p 978-4-10-106337-9 本体 ¥630+税



北の海<下巻>(新潮文庫)

井上 靖 著 新潮社 毎日新聞 2018/10/14 2003:8./353p 978-4-10-106338-6 本体 ¥590+税





夏草冬濤<上>(新潮文庫)

井上 靖 著 新潮社 毎日新聞 2018/10/14

1989:1./ 423p 978-4-10-106333-1 本体 ¥710+税



夏草冬濤<下>(新潮文庫)

井上 靖 著 新潮社 毎日新聞 2018/10/14

1989:1./ 378p 978-4-10-106334-8 本体 ¥670+税

No Image

忘れられた日本人(ワイド版岩波文庫 160)

宮本常一 著 岩波書店 毎日新聞 2018/10/14

1995:2./ 334p 978-4-00-007160-4 本体 ¥1,300+税



しろばんば 改版(新潮文庫)

井上 靖 著 新潮社 毎日新聞 2018/10/14 2004:5./583p 978-4-10-106312-6 本体 ¥790+税



紋章と時間~諏訪哲史文学芸術論集~

諏訪 哲史 著 国書刊行会

小説狂・諏訪哲史の全評論を集大成。澁澤龍彦、種村季弘、ランボー、村上春樹な どの作家・作品、言語芸術、音楽・美術、自作について語る。書き下ろし、多和田葉 子・谷川渥との対談も収録。

2018:3./ 492p 978-4-336-06249-9 本体 ¥3,600+税

毎日新聞 2018/10/14



新貿易立国論(文春新書 1170)

大泉 啓一郎 著

文藝春秋

グローバル時代にふさわしいビジネスモデルとは? 中国やアジアの新興国・涂上国 に追い上げられている日本。ビジネスの現場を踏まえて、新しい貿易立国を目指すた めのアジアの見方と、その道筋を示す。

2018:5./ 260p 978-4-16-661170-6 本体 ¥880+税

毎日新聞 2018/10/14



水族館の文化史~ひと・動物・モノがおりなす魔術的世界~

溝井 裕一 著

勉誠出版

古代の養魚池文化から、黎明期の水族館のユニークな展示、第二次世界大戦中の 苦難、展示のストーリー化、さらにはヴァーチャル・リアリティ技術とのハイブリッド化ま で、古今東西の水族館文化を図版とともに概観する。

978-4-585-22210-1 本体 ¥2,800+税

2018:6./ 5p,359p



30 代からの「異業種」転職成功の極意~超一流ヘッドハンターが教える!~

武元 康明 著

河出書房新社

業種や会社の枠を超えて"天職"を手に入れるための、「異業種」転職マニュアル。 ヘッドハンターとして 21 年間、2 万人以上の人たちと会ってきた著者が、これからの転職時代を生き抜くとっておきのノウハウを伝える。

2018:7./ 221p 978-4-309-24872-1 本体 ¥1,450+税

毎日新聞 2018/10/14



わけあって絶滅しました。~世界一おもしろい絶滅したいきもの図鑑~

丸山 貴史 著ダイヤモンド社

不器用だったり、不運だったり-。ドードー、シソチョウ、ティラノサウルスなど、いろいろな生き物が絶滅した理由を、大きさ・生息地等の基本データやイラストとともに紹介。 切り取り式の「絶滅全史」付き。

2018:7./ 175p 978-4-478-10420-0 本体 ¥1,000+税

毎日新聞 2018/10/14



橋本多佳子全句集(角川ソフィア文庫 D117-1)

橋本 多佳子 著

KADOKAWA

女心と物語性に満ちた句で、戦後俳壇の女流スターと称された橋本多佳子の全句集。補遺(句集未収録作品)、自句自解、山口誓子による解説、年譜、季語索引なども収録する。

2018:8./ 582p 978-4-04-400412-5 本体 ¥1,440+税

毎日新聞 2018/10/14



誰のために法は生まれた

木庭 顕著

朝日出版社

替えのきく人間なんて 1 人もいない-。問題を鋭く見つめ、格闘した紀元前ギリシャ・ローマ人の古典作品などを読解し、全てを貫く原理を取り出し、法について考える。 2017年に桐蔭学園で中高生のために行われた授業の記録。 2018:7./ 397p 978-4-255-01077-9 本体 ¥1,850+税

毎日新聞 2018/10/14



てんてこまい~文学は日暮れて道遠し~(五柳叢書 105)

マイケル・エメリック 著

五柳書院

翻訳論、文学論、「源氏物語」考をはじめ、エッセイや時評、書評など、2006 年 10 月 以降、著者が日本語で著してきた文章、日本語で行ってきた対談のほとんどを収め た著述集。 2018:7./ 382p 978-4-901646-31-4 本体 ¥3,000+税

毎日新聞 2018/10/14



全産業「デジタル化」時代の日本創生戦略

藤原 洋 著 PHP研究所

AI や IoT などのテクノロジーは、私たちの生活にどういったインパクトを与えるのか、各産業はそれにどう関わっていくべきか。テクノロジーが産業や企業にもたらす具体的な恩恵を、実例を交えながら解説する。

毎日新聞 2018/10/14

2018:8./ 254p 978-4-569-84120-5 本体 ¥1,600+税



アゲハチョウの世界~その進化と多様性~

吉川 寛、海野 和男 著平凡社

アゲハチョウの美しさ、生態の面白さ、そして進化と多様性の謎を満喫できる一冊。世界の研究者によるアゲハチョウの DNA 研究と、昆虫写真家による生態写真を収録する。

2018:9./ 151p 978-4-582-54256-1 本体 ¥3,400+税

毎日新聞 2018/10/14



Haruki Murakami を読んでいるときに我々が読んでいる者たち

辛島 デイヴィッド 著

みすず書房

世界で最も広く読まれている日本人小説家・村上春樹。世界へのブレイクスルーまで の道のりを後押した出版界のスペシャリストたちとの対話と、村上本人のインタビュ ーをもとに、世界的作家が生まれるまでのストーリーを追う。 2018:9./ 356p,24p 978-4-622-08700-7 本体 ¥3,200+税

毎日新聞 2018/10/14



福田甲子雄全句集

福田 甲子雄、『福田甲子雄全句集』刊行委員会 編 福田 甲子雄 著 ふらんす堂

飯田蛇笏、龍太を師と仰ぎ、全身全霊をもって甲斐の風土を愛した福田甲子雄の全句集。昭和 46 年の第 1 句集「藁火」から遺句集となった平成 17 年の第 7 句集「師の掌」までを収録するほか、自句自解 100 句、評論なども掲載。

2018:9./ 406p 978-4-7814-1101-9 本体 ¥3,500+税

毎日新聞 2018/10/15



老人力(ちくま文庫)

赤瀬川 原平 著 筑摩書房 毎日新聞 2018/10/21 2001:9./ 395p 978-4-480-03671-1 本体 ¥680+税

No Image

武者小路実篤詩集 改版(新潮文庫)

武者小路 実篤、亀井 勝一郎 著

新潮社

平明な言葉、素朴な響きのうちに深い人生の知恵がこめられ、"無心"へのあこがれを 東洋風のおおらかな表現で謳い上げた代表詩 117 編。 2002:2./ 205p 978-4-10-105712-5 本体 ¥430+税

毎日新聞 2018/10/21

No Image

評伝 鶴屋南北 全2巻

古井戸 秀夫 著

白水社

江戸歌舞伎の発展と成熟に多大な業績を残した狂言作者の生涯と作品を、第一人 者が半生を賭し、同時代の人間模様と共に描く渾身の大作。

が半生を賭し、同時代の人間模様と共に描く渾身の大作。

毎日新聞 2018/10/21

2018:7./ 1,616p 978-4-560-09623-9 本体 ¥25,000+税



六月の雪

乃南 アサ 著

文藝春秋

入院した祖母を元気づけるため、杉山未來は祖母の生地である台湾の古都、台南を訪れる。そこで未來は戦前の日本人の涙と無念を知り、台湾人を襲った悲劇に驚く…。『オール讀物』連載を単行本化。

2018:5./ 509p 978-4-16-390840-3 本体 ¥1,850+税

毎日新聞 2018/10/21



土・牛・微生物~文明の衰退を食い止める土の話~

D.モントゴメリー、片岡 夏実 著

築地書館

アフリカなどで行われている不耕起栽培や輪作・混作、有畜農業から、アジアの保全型農業、日本のボカシまで、篤農家や研究者の先進的な取組みを世界各地で取材。 農耕の歴史をひもときながら、食糧問題、環境問題を考える。

2018:8./ 345p 978-4-8067-1567-2 本体 ¥2,700+税

毎日新聞 2018/10/21



私の美術漫歩~広告からアートへ、民から官へ~

若林 覚 著

生活の友社

サントリーの商品広告に携わった広告マンは文化事業も手掛け、サントリー美術館副館長を経て、練馬区立美術館館長に転身した。波乱に満ちた著者のドキュメンタリー。練馬区立美術館の会報誌『階』掲載記事に加筆・再構成。

2018:8./ 287p 978-4-908429-18-7 本体 ¥2,500+税

毎日新聞 2018/10/21



端境の海

麻生 直子 著

思潮社

島影も見えない海の上で ひとり小船を浮かべ 漁をする男に 尋ねたことがあった ゆれる海の上で いつも何を考えているの(「喉笛」より) 「辺境」に在ることを志向する詩人が紡ぐ詩集。

2018:6./ 121p 978-4-7837-3610-3 本体 ¥2,600+税

毎日新聞 2018/10/21



フロスト詩集~対訳~(岩波文庫 32-343-1)

フロスト、川本 皓嗣 編

フロスト 著

岩波書店

日常の言葉で自然や人生を語り、20 世紀アメリカの「国民詩人」として愛されるフロスト。素朴で大らかな描写の下に、不気味な暗さをたたえるその詩から、36 篇を精選。 多様な「意味の音」を伝える原文とともに味わう。 2018:8./ 242p 978-4-00-323431-0 本体 ¥780+税

毎日新聞 2018/10/21



衣笠祥雄最後のシーズン(角川新書 K-223)

山際 淳司 著

KADOKAWA

2018年に亡くなったプロ野球界の往年のヒーローである衣笠祥雄と星野仙一。彼らと同時代に生き、信頼も厚かった作家は、昭和のレジェンドたちをどう描いてきたのか。 山際淳司が潰したプロ野球短編傑作選。

毎日新聞 2018/10/21

2018:8./ 287p 978-4-04-082265-5 本体 ¥840+税



富士への道~村上裕二画集~

村上 裕二 著

求龍堂

日本画のモチーフとしてもっとも愛され続けてきた「富士山」に挑んだ作品集。富嶽三十六景へのオマージュ作「青富士 36 点」、院展出品作などを収録。「富士」への想いも綴る。

2018:9./ 116p 978-4-7630-1824-3 本体 ¥3,800+税

毎日新聞 2018/10/21



ベルリンは晴れているか

深緑 野分 著 筑摩書房

1945 年 7 月、4 カ国統治下のベルリン。米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つ。しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目になり...。歴史ミステリ。

2018:9./ 475p 978-4-480-80482-2 本体 ¥1,900+税

毎日新聞 2018/10/21



母の教え~10 年後の『悩む力』~(集英社新書 0953)

姜 尚中 著

集英社

これまでの生活をリセットして東京近郊の高原へと移住した著者が、「田舎暮らしエッセイ」という器に載せて、これまでになく素直な気持ちで、来し方行く末を綴る。

2018:10./ 236p 978-4-08-721053-8 本体 ¥840+税

毎日新聞 2018/10/21



シスター・ヒロ子の看取りのレッスン

小出 美樹 著

KADOKAWA

泣いたり笑ったりして生きていくのよ-。末期がんの母が人生最後の 2 週間を過ごした ホスピス病棟で、シスター・ヒロ子と出会った著者が、彼女から受けた「看取りのレッス ン」を伝える。シスターの慈愛に満ちた言葉が満載。 2018:10./ 181p 978-4-04-065230-6 本体 ¥1,300+税

毎日新聞 2018/10/21



カヴァフィス全詩

カヴァフィス、池澤 夏樹 著

書肆山田

アレクサンドリアのギリシア語詩人、カヴァフィス。歴史のアイロニーとひとりの孤独な 人間のありよう、そして同性愛者の官能と悲傷...。生前、カヴァフィスが公刊を認めた 全作品を、池澤夏樹が長い時間をかけて訳出した詩集。 2018:9./ 330p 978-4-87995-975-1 本体 ¥3,500+税

毎日新聞 2018/10/21



春の顕微鏡~永田紅歌集~(塔 21 世紀叢書 第 331 篇)

永田 紅 著

青磁社

会うことも会わざることも偶然の飛沫のひとつ蜘蛛の巣ひかる すでに我が手を離れた るさびしさを君は育てて巻きつかれおり 2006 年秋から 2011 年末までの 676 首を収めた第4歌集。

2018:9./ 299p 978-4-86198-413-6 本体 ¥3,000+税



一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53)

ジョージ・オーウェル 著

早川書房

超全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史 の改竄が仕事だった。ある時、奔放な美女ジュリアと出会ったことを契機に、反政府 地下活動に惹かれるようになるが...。 2009:6./ 511p 978-4-15-120053-3 本体 ¥860+税

毎日新聞 2018/10/28



グッド・バイ 改版(新潮文庫)

太宰 治 著 新潮社 毎日新聞 2018/10/28 2008:9./ 397p 978-4-10-100608-6 本体 ¥520+税



走れメロス 改版(新潮文庫)

太宰 治 著 新潮社 毎日新聞 2018/10/28 2005:2./ 300p 978-4-10-100606-2 本体 ¥400+税

No Image

太宰治全集<8> 小説(7)

太宰 治 著 筑摩書房 毎日新聞 2018/10/28 1998:11./ 453p 978-4-480-71058-1 本体 ¥6,200+税



その声を力に

早乙女 勝元 著新日本出版社

父母のこと、逃げ延びた大空襲、戦後の夜学時代、作家デビュー、「東京空襲を記録する会」の発足…。早乙女勝元が、少年期から現在まで、平和が軸の人生の軌跡を語る。『東京新聞』夕刊連載「この道」を大幅加筆。

2018:5./ 183p 978-4-406-06255-8 本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2018/10/28



私の生い立ち(岩波文庫 31-038-3)

与謝野 晶子 著

岩波書店

学校、家族、遊び友だち...。与謝野晶子が、堺ですごした幼少期の生活とその心情を素直に綴った表題作の自伝に、晶子が身近に接して記憶に鮮やかだった少女の姿を描いた「私の見た少女」を併収。竹久夢二による挿画も掲載する。

2018:8./ 264p 978-4-00-310383-8 本体 ¥640+税

毎日新聞 2018/10/28



寄席の底ぢから

中村 伸著

三賢社

寄席に行ってみよう! 落語を中心にした「定席」と呼ばれる寄席を取り上げ、事件簿から楽しみ方、歴史までを紹介。上野、新宿など、寄席を育んできた街の歴史もたどる。

2018:7./ 239p 978-4-908655-10-4 本体 ¥1,500+税



世界史のなかの文化大革命(平凡社新書 891)

馬場 公彦 著

平凡社

文化大革命とは何だったのか。中国という特殊な空間と歴史のなかで起こった一度きりの出来事なのだろうか。それとも、どの国、どの社会でも起こりうる現象なのか。国際的要因と越境性を重視し、文革のもうひとつの真実に迫る。

2018:9./ 331p 978-4-582-85891-4 本体 ¥920+税

毎日新聞 2018/10/28



長生きだけが目的ですか?~弘兼流「人生 100 年時代」の歩き方~

弘兼 憲史 著

徳間書店

定年後、ますます長くなる時間を、無理せず生きてみましょうか。死ななくなった時代の思考術、老化への多少の抵抗など、弘兼憲史が人生 100 年時代の歩き方を綴ります。『週刊アサヒ芸能』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2018:9./ 218p 978-4-19-864690-5 本体 ¥1,100+税

毎日新聞 2018/10/28



高坂正堯~戦後日本と現実主義~(中公新書 2512)

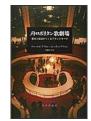
服部 龍二 著

中央公論新社

日本における国際政治学の最大の巨人・高坂正堯。彼の主著、歴代首相のブレーン としての活動を中心に生涯をたどり、戦後日本の知的潮流、政治とアカデミズムとの 関係を明らかにする。

2018:10./ 6p,410p 978-4-12-102512-8 本体 ¥1,000+税

毎日新聞 2018/10/28



メトロポリタン歌劇場~歴史と政治がつくるグランドオペラ~

チャールズ・アフロン、ミレッラ・J.アフロン、佐藤 宏子 著みすず書房

個人出資者たちが資金を拠出しあい、持ち株会社の形で設立されたメトロポリタン歌劇場。二度の大戦、移転、人種差別問題…。経営陣と指揮者、オーケストラ、歌手、 演出家、批評家、観客が織りなす 130 年のドラマを描く。 2018:10./ 12p,518p,26p 978-4-622-08733-5 本体 ¥8,400+税

毎日新聞 2018/10/28



世界の戦争廃墟図鑑~平和のための歴史遺産~(フォトミュージアム)

マイケル・ケリガン、岡本 千晶 著

原書房

世界が滅びたら、こんな眺めになるのではないか-。海底に沈む戦車、密林に溶け込む戦闘機、放棄された軍事施設、遺構...。欧米諸国から極東・太平洋地域まで、第二次世界大戦の痕跡を大判写真と簡潔な解説でたどる。

2018:10./ 223p 978-4-562-05602-6 本体 ¥5,000+税